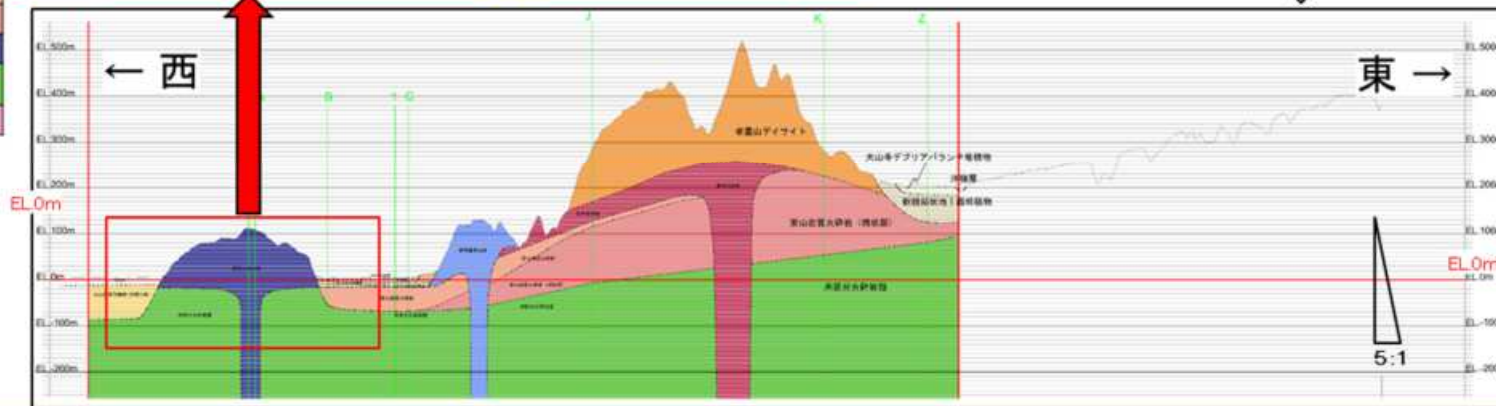
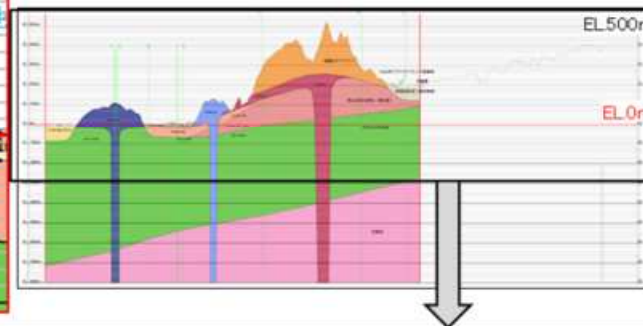
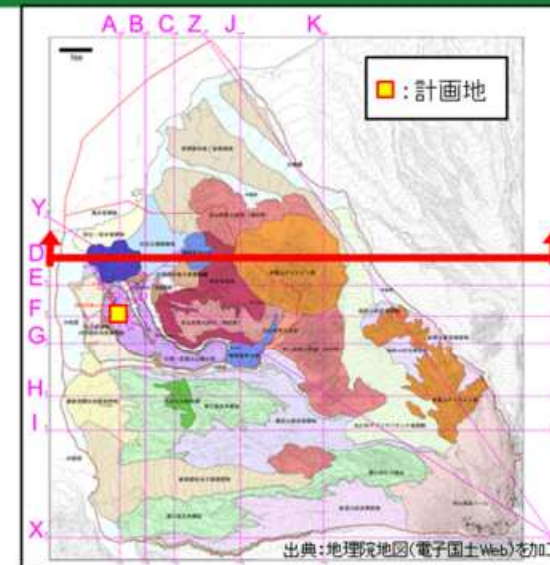
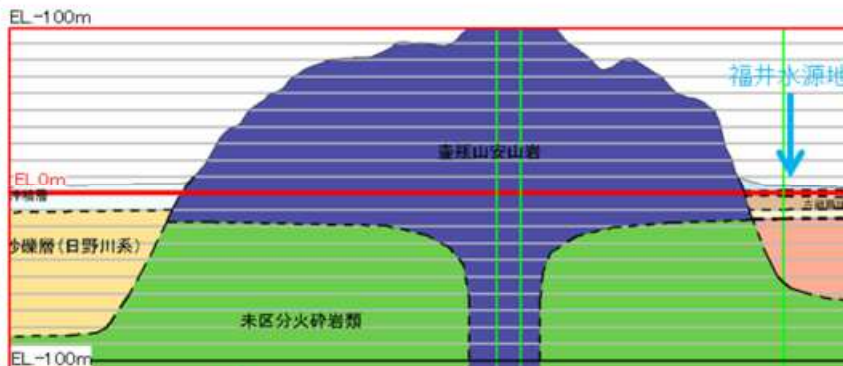


# 地質断面図 断面D

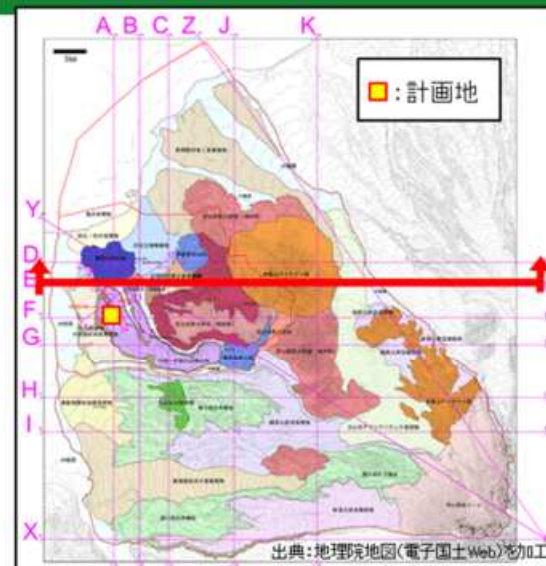
壺瓶山と福井水源地を通る、東西方向の地質断面図です。

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺デブリアランテ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
第四紀	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	礫原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期壺川埋積堆積物	
	中期～古期大山礫物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
	花崗岩	
古第三紀		

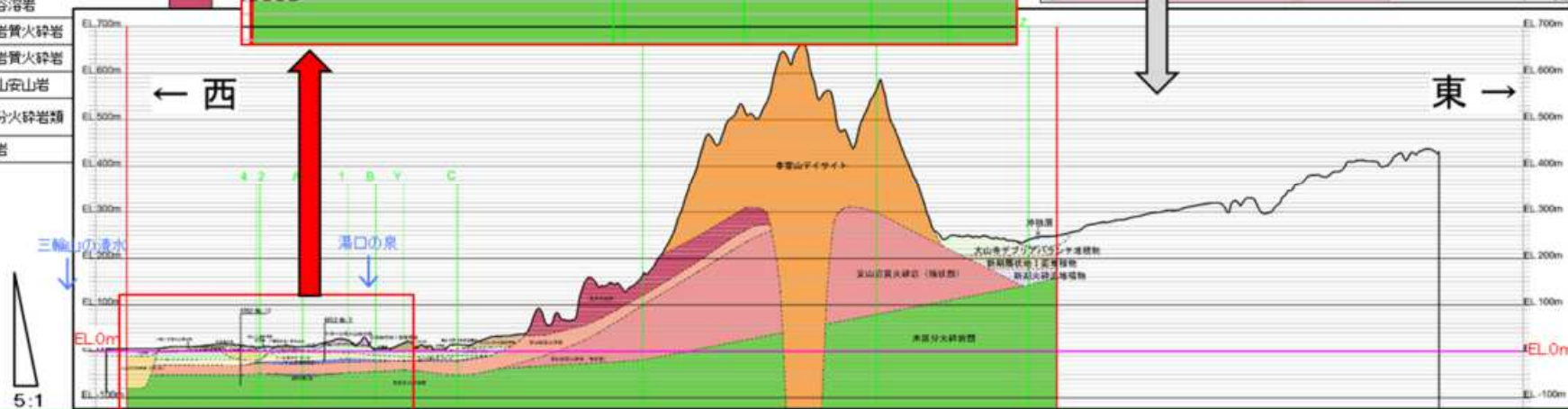
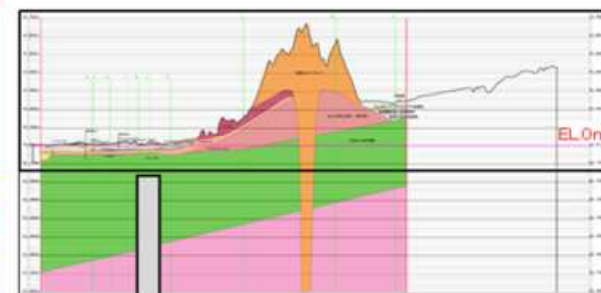
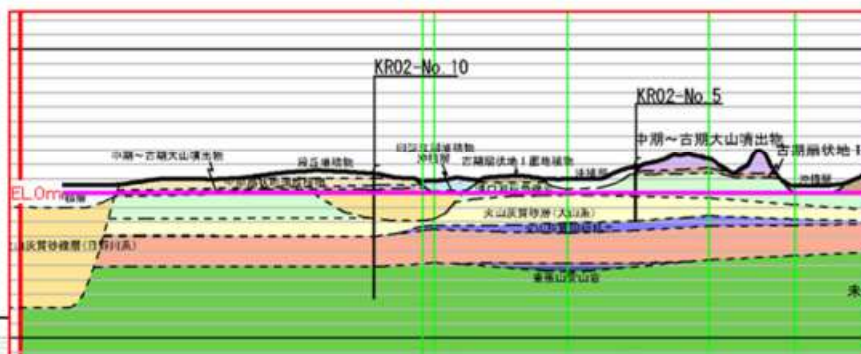


# 地質断面図 断面E

三輪山の清水(壺瓶山南側)を通る、東西方向の地質断面図です。



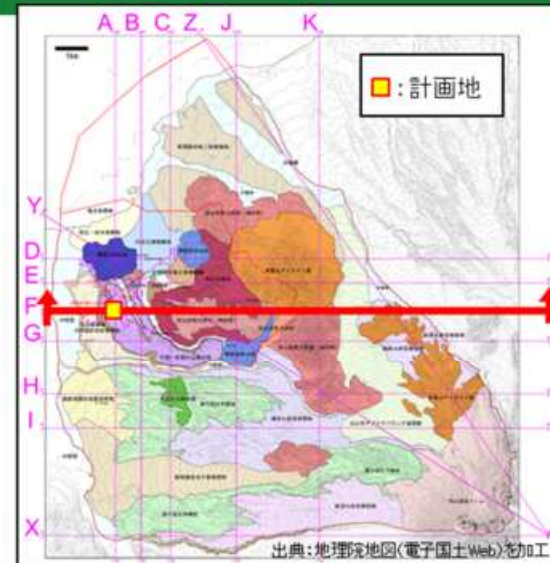
地質時代	地層名	色
新 生 代	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江扇堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバラチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	旗原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期堀川堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
孝霊山デイスイト類		
古期扇状地Ⅰ面堆積物		
清口凝灰角礫岩		
火山灰質砂層(大山系)		
火山灰質固結粘土層		
中 期	無珉晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩	
	壺瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
前 期	花崗岩	
古第三紀	花崗岩	



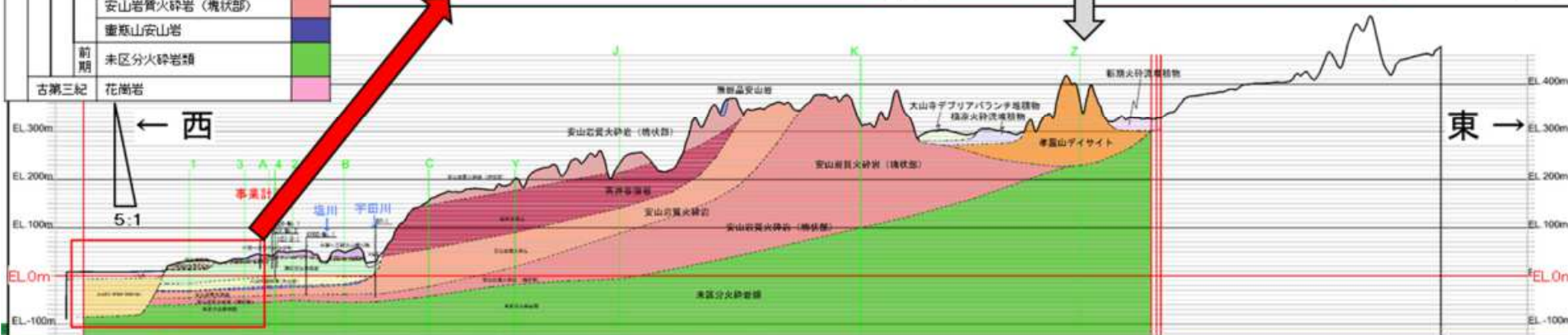
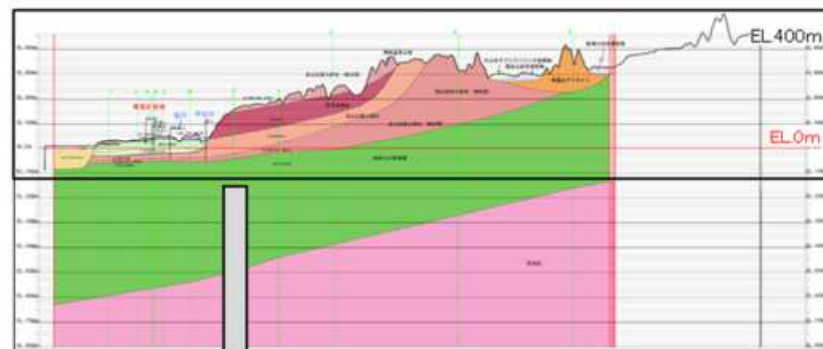
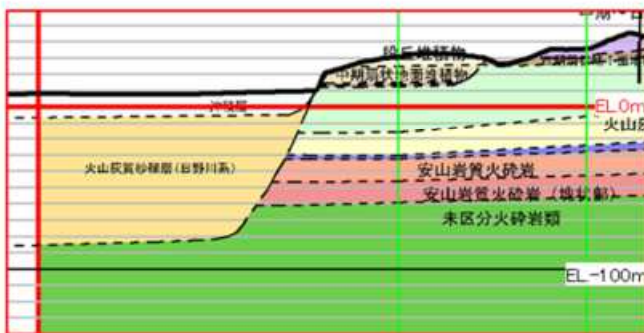
# 地質断面図

## 断面F

計画地を通る、東西方向の地質断面図です。



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江礫堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
新第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂層(日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	中期～古期火山噴出物	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	考曇山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	清口凝灰角礫岩	
火山灰質砂層(大山系)		
火山灰質固結粘土層		
中期	無垢晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	壺瓶山安山岩	
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

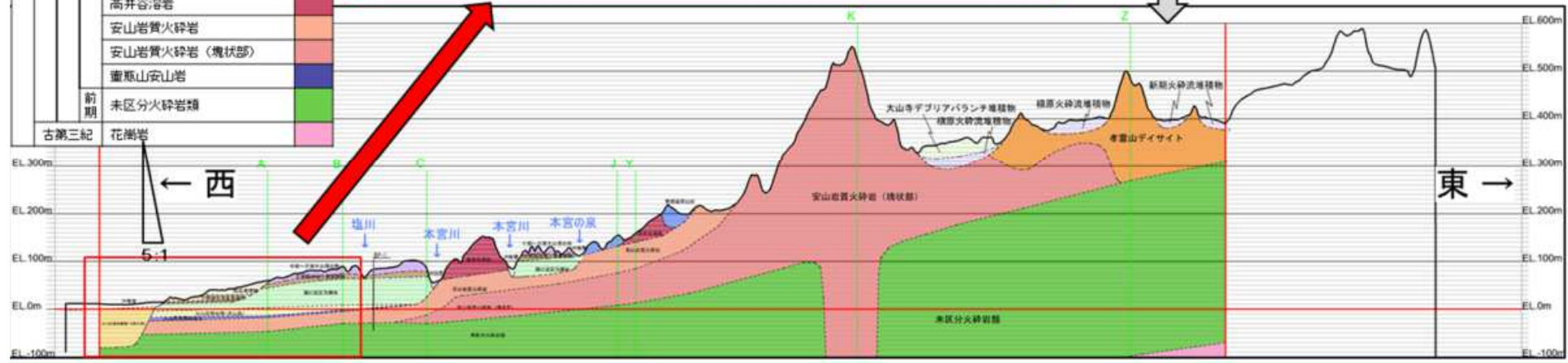
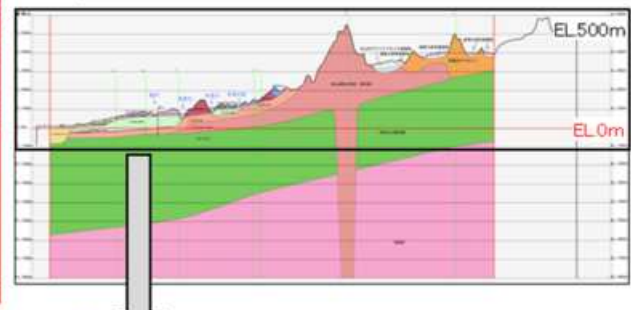
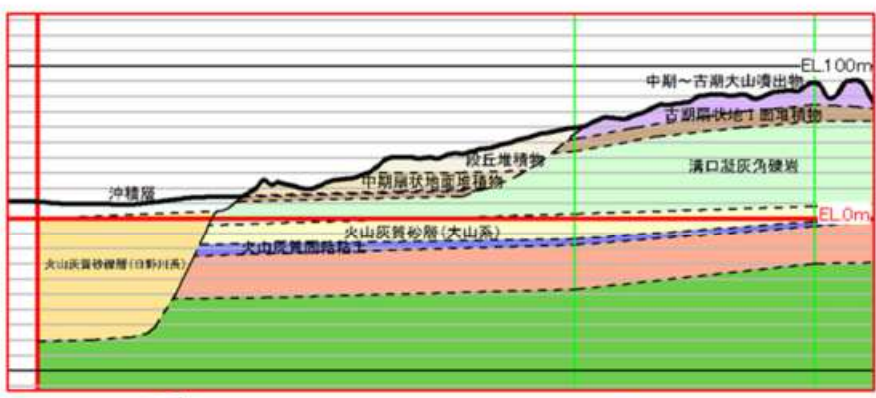


# 地質断面図 断面G

本宮の泉を通る、東西方向の地質断面図です。

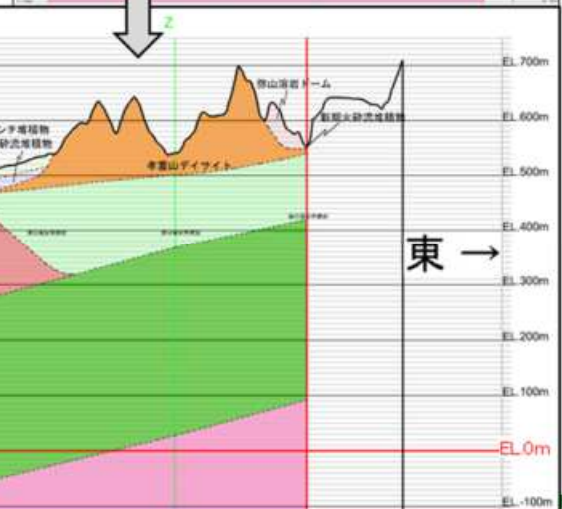
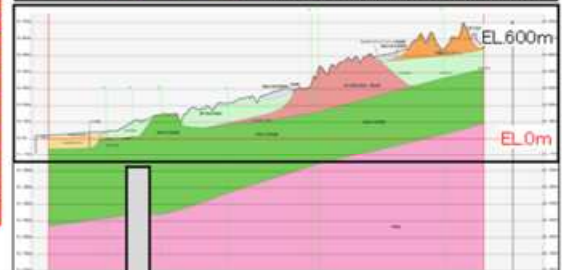
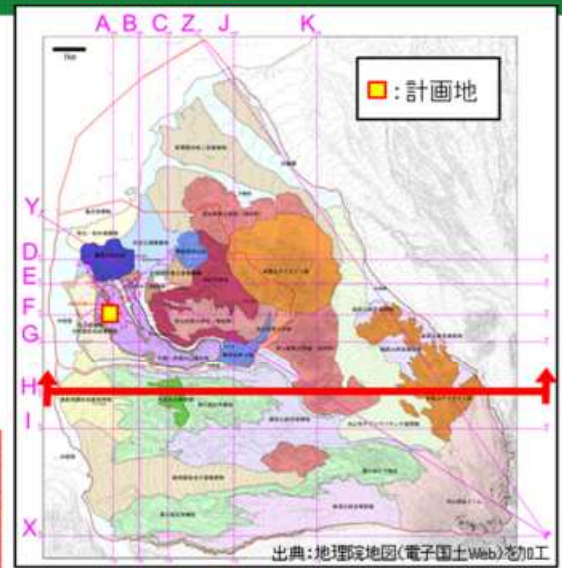


地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀工場堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地堆積物		
	第四紀	段丘堆積物	
		大山寺デブリアバラランチ堆積物	
		弥山溶岩ドーム	
		新期火砕流堆積物	
		新期扇状地Ⅱ面堆積物	
新期扇状地Ⅰ面堆積物			
横原火砕流堆積物			
火山灰質砂礫層(日野川系)			
中期扇状地堆積物			
古期堀川埋積堆積物			
中期～古期大山噴出物			
中期	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	寺蓋山デイサイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	清口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	無珉晶安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
	安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)			
前期	蘆蕨山安山岩		
	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		

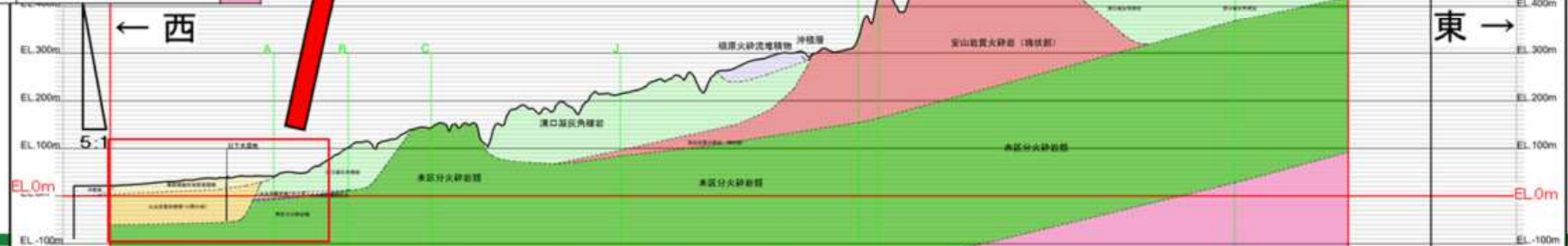
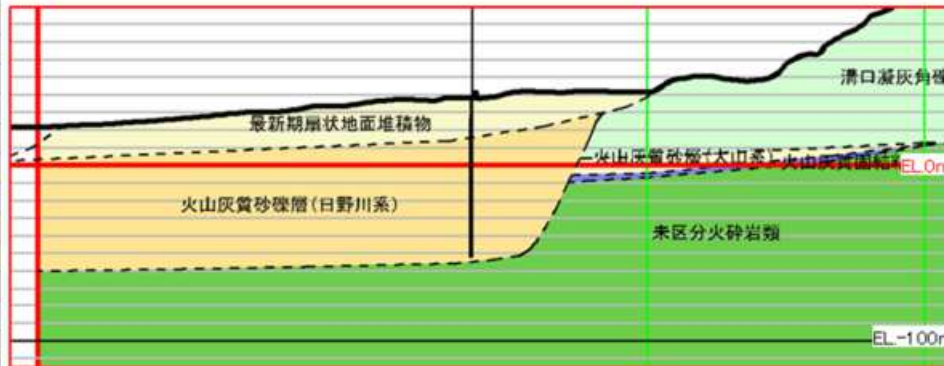


# 地質断面図 断面H

精進川の南側を通る、東西方向の地質断面図です。



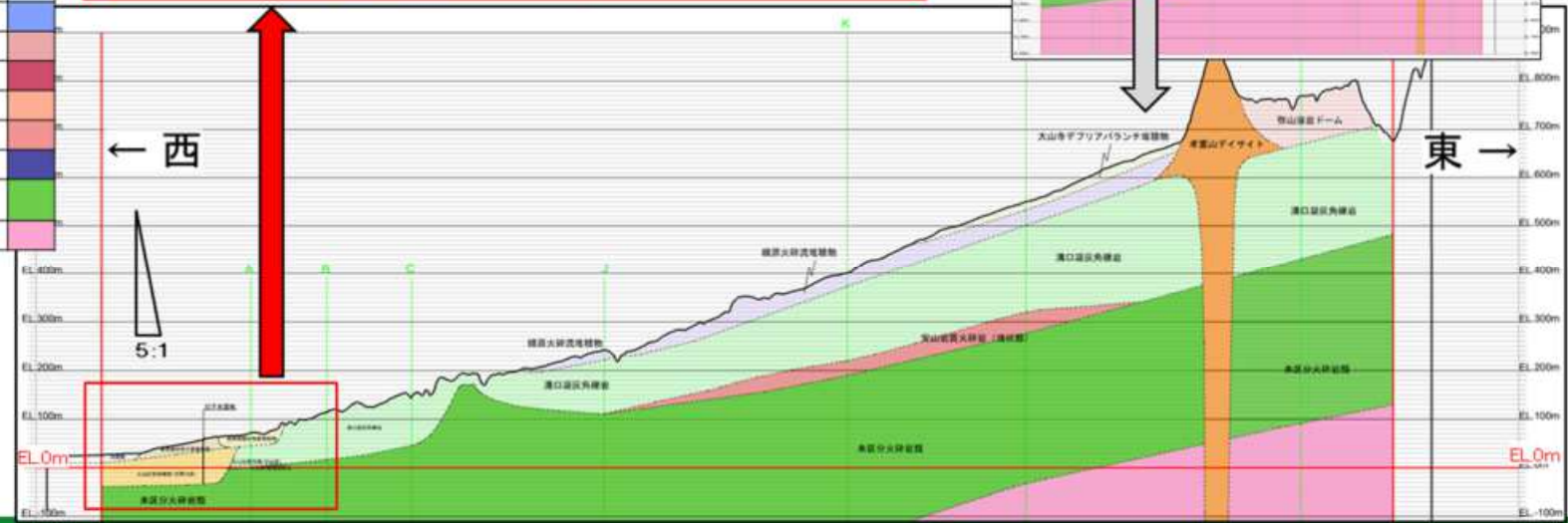
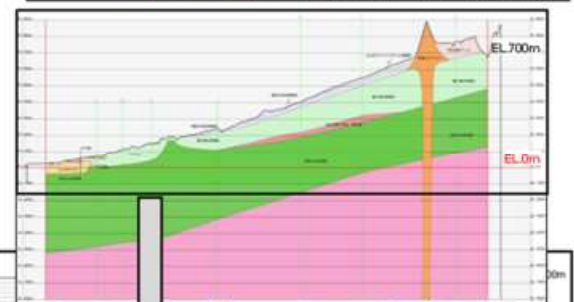
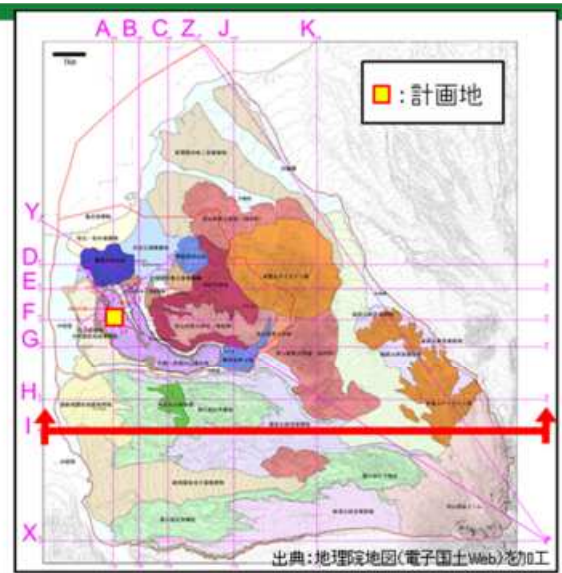
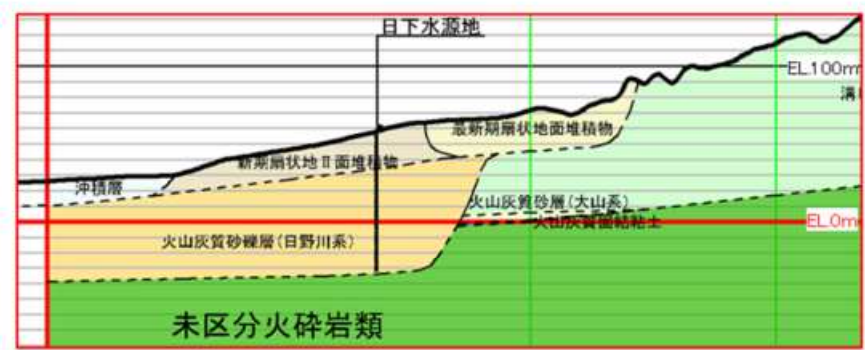
地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀工場堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地堆積物		
	第四紀	段丘堆積物	
		大山寺デブリアランチ堆積物	
		弥山溶岩ドーム	
		新期火砕流堆積物	
		新期扇状地II面堆積物	
新期扇状地I面堆積物			
横原火砕流堆積物			
火山灰質砂礫層(日野川系)			
中期扇状地堆積物			
古期堀川埋積堆積物			
中期~古期大山噴出物			
古期扇状地II面堆積物			
孝霊山デイサイト類			
古期扇状地I面堆積物			
清口凝灰角礫岩			
火山灰質砂層(大山系)			
火山灰質固結粘土層			
無珉晶安山岩			
安山岩質火砕岩(塊状部)			
高井谷溶岩			
安山岩質火砕岩			
安山岩質火砕岩(塊状部)			
壺瓶山安山岩			
前期	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		



# 地質断面図 断面I

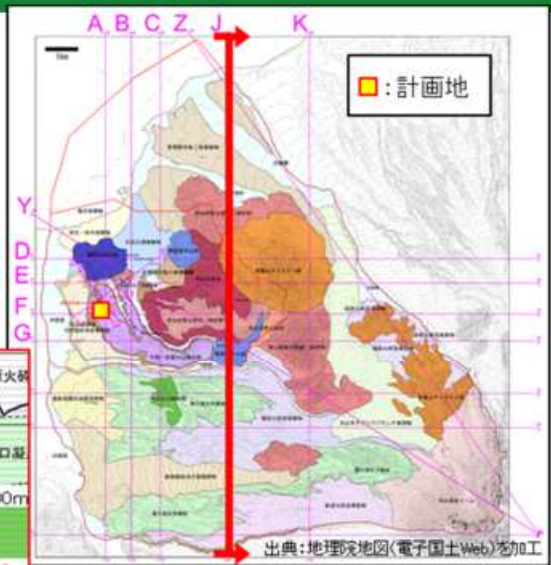
精進川の南側で、断面Hよりさらに南側を通る、東西方向の地質断面図です。

地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物	黄褐色	
	沖積層	黄褐色	
	旧定工場堆積物	青灰色	
	砂丘・砂州堆積物	黄褐色	
	最新期扇状地面堆積物	黄褐色	
	第四紀	段丘堆積物	黄褐色
		大山寺デブリアランチ堆積物	黄褐色
		弥山溶岩ドーム	赤褐色
		新期火砕流堆積物	黄褐色
		新期扇状地II面堆積物	黄褐色
		新期扇状地I面堆積物	黄褐色
		横原火砕流堆積物	黄褐色
		火山灰質砂層(日野川系)	黄褐色
		中期扇状地面堆積物	黄褐色
		古期堀川埋積堆積物	黄褐色
中期～古期大山噴出物		黄褐色	
古期扇状地II面堆積物		黄褐色	
孝霊山デイサイト類		黄褐色	
古期扇状地I面堆積物		黄褐色	
溝口凝灰角礫岩		黄褐色	
火山灰質砂層(大山系)	黄褐色		
火山灰質固結粘土層	黄褐色		
中期	無珉晶安山岩	青灰色	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	赤褐色	
	高井谷溶岩	赤褐色	
	安山岩質火砕岩	赤褐色	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	赤褐色	
	壺瓶山安山岩	赤褐色	
前期	未区分火砕岩類	黄褐色	
古第三紀	花崗岩	黄褐色	

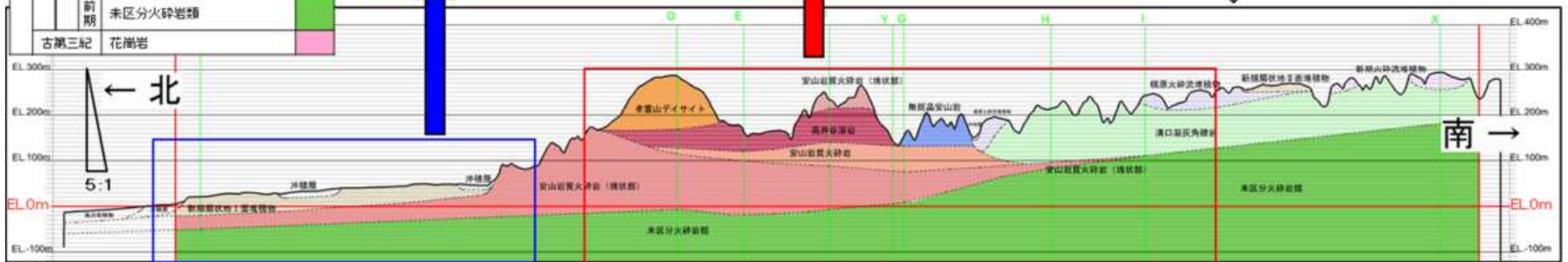
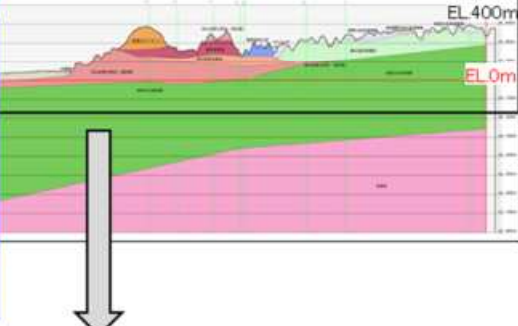
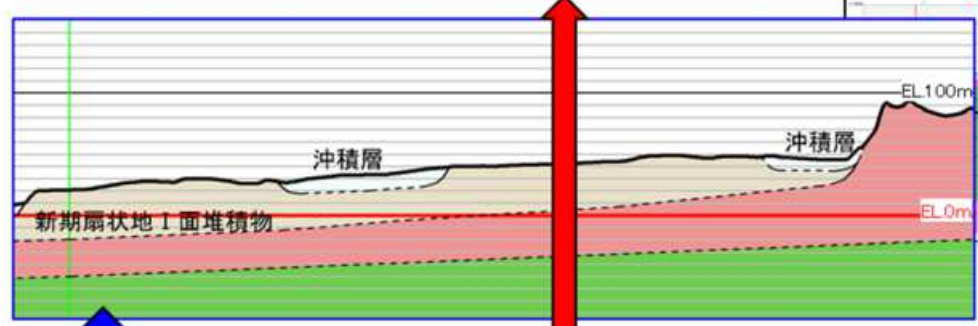
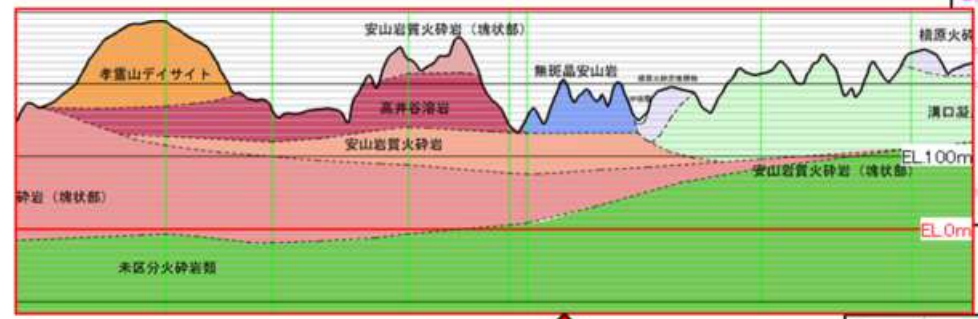


# 地質断面図 断面J

本宮の泉の東側を通る、南北方向の地質断面図です。

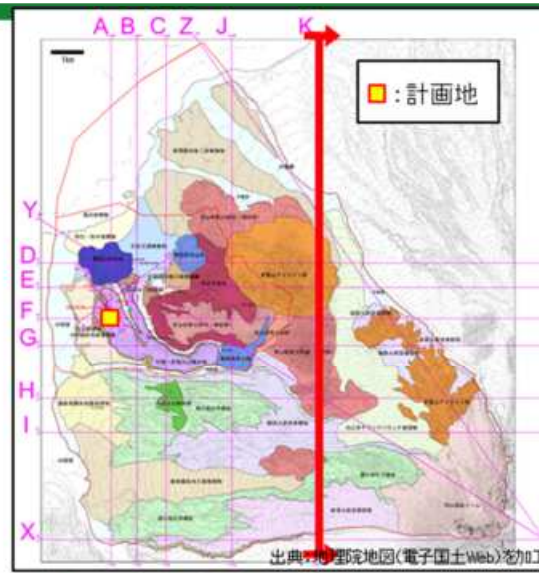


地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
新第三紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバランス堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	清口凝灰角礫岩	
中期	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
前期	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	壺瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

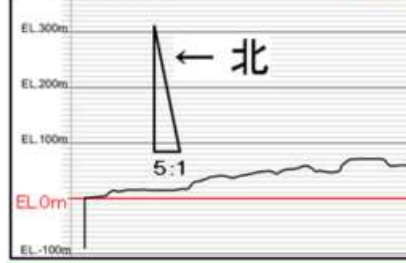
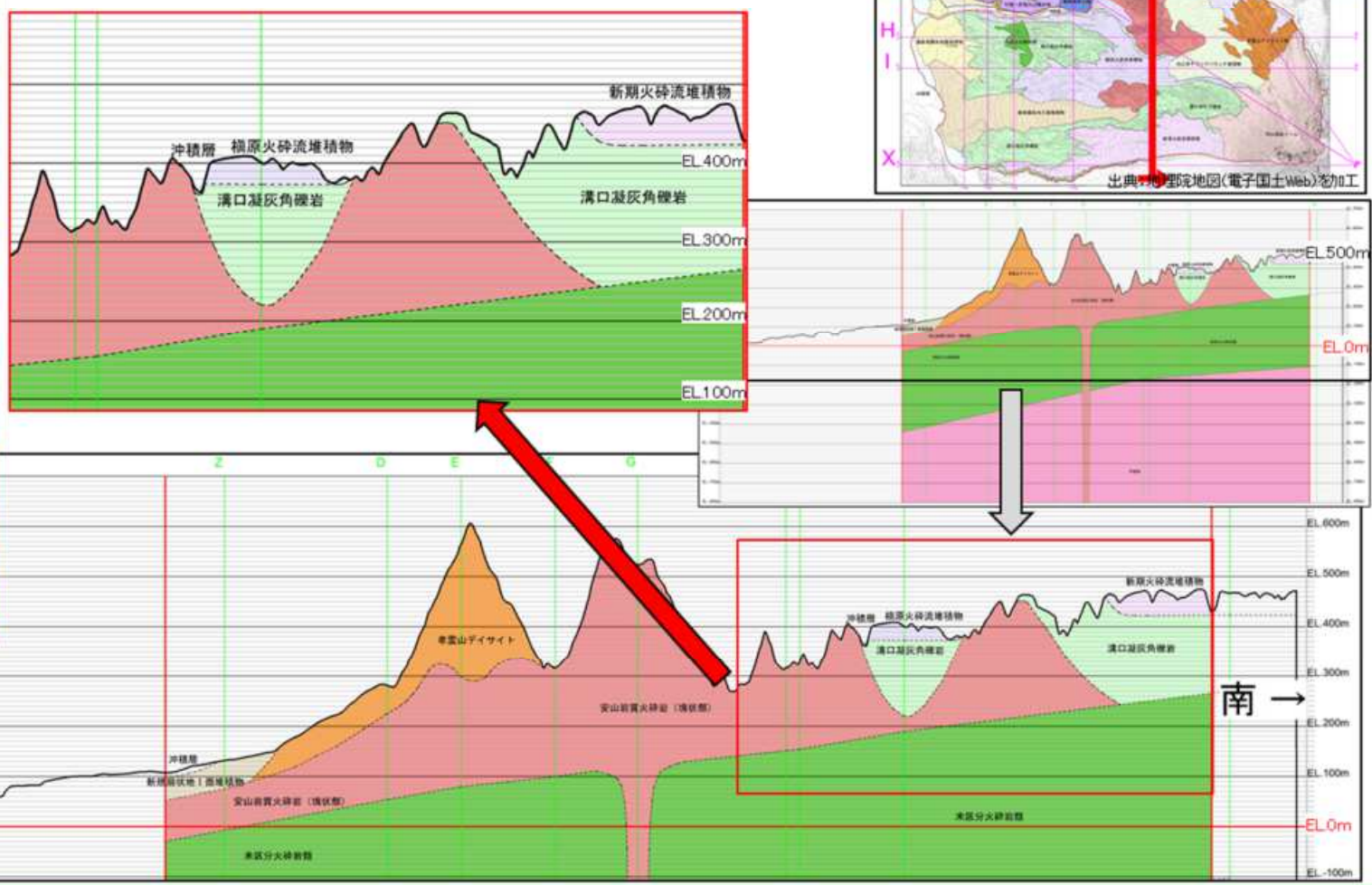


# 地質断面図 断面K

孝霊山の東側を通る、南北方向の地質断面図です。



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧深江場堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバラチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期堀川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイスイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
火山灰質砂層(大山系)		
中期	火山灰質固結粘土層	
	無功晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
前期	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	重瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

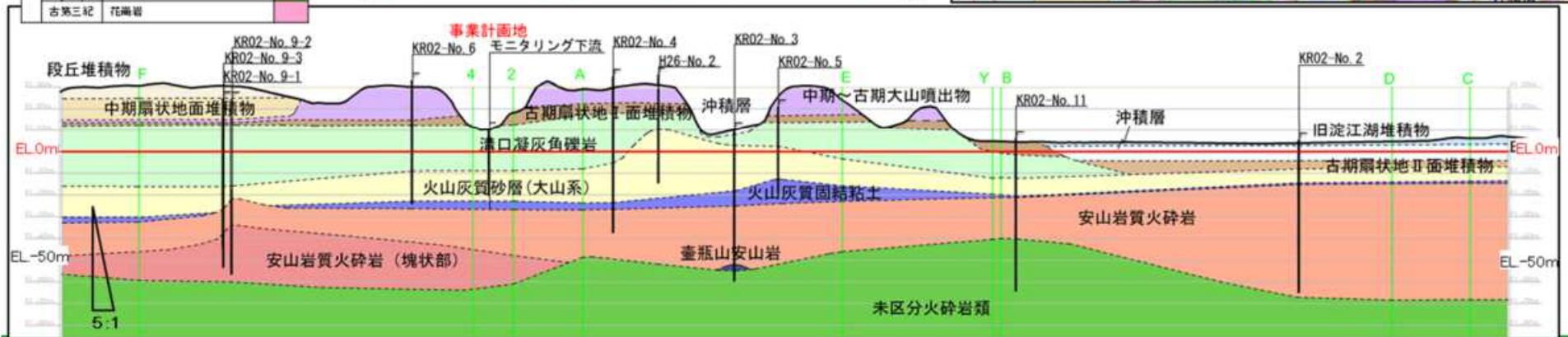
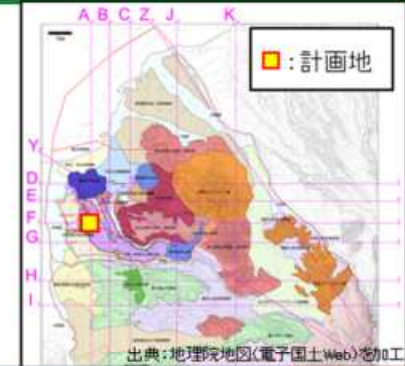
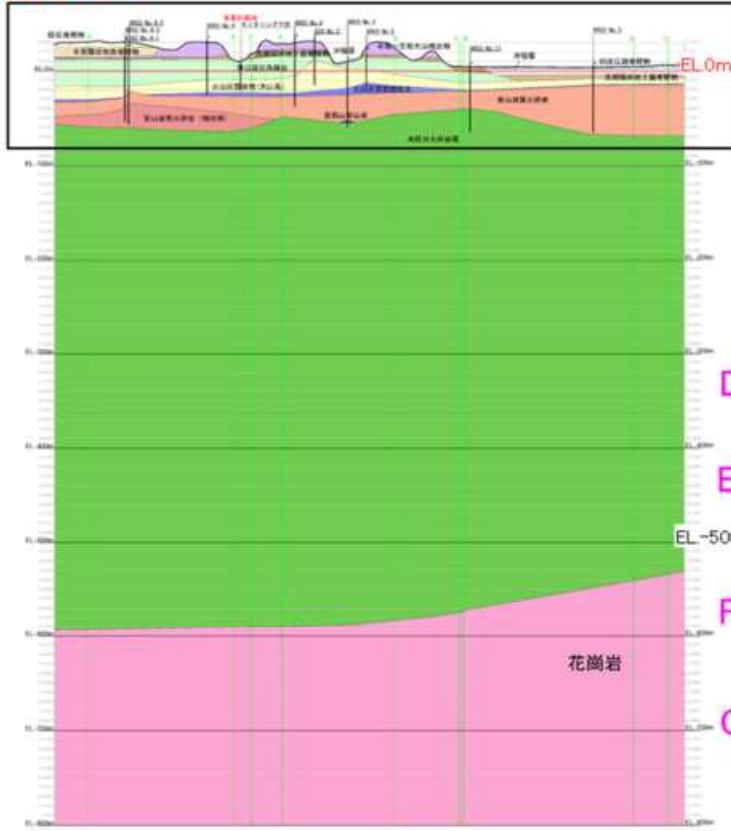




# 地質断面図

地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地面堆積物		
	第四紀	段丘堆積物	
		大山寺デブリアランチ堆積物	
		弥山溶岩ドーム	
		新期火砕流堆積物	
		新期扇状地Ⅲ面堆積物	
新期扇状地Ⅱ面堆積物			
扇原火砕流堆積物			
火山灰質砂礫層(日野川系)			
中期扇状地面堆積物			
古期塔川礫堆積物			
中期	中期～古期大山噴出物		
	古期扇状地Ⅲ面堆積物		
	孝霊山テイスイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土		
	無斑晶安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
前期	安山岩質火砕岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
古第三紀	未区分火砕岩類		
花崗岩			

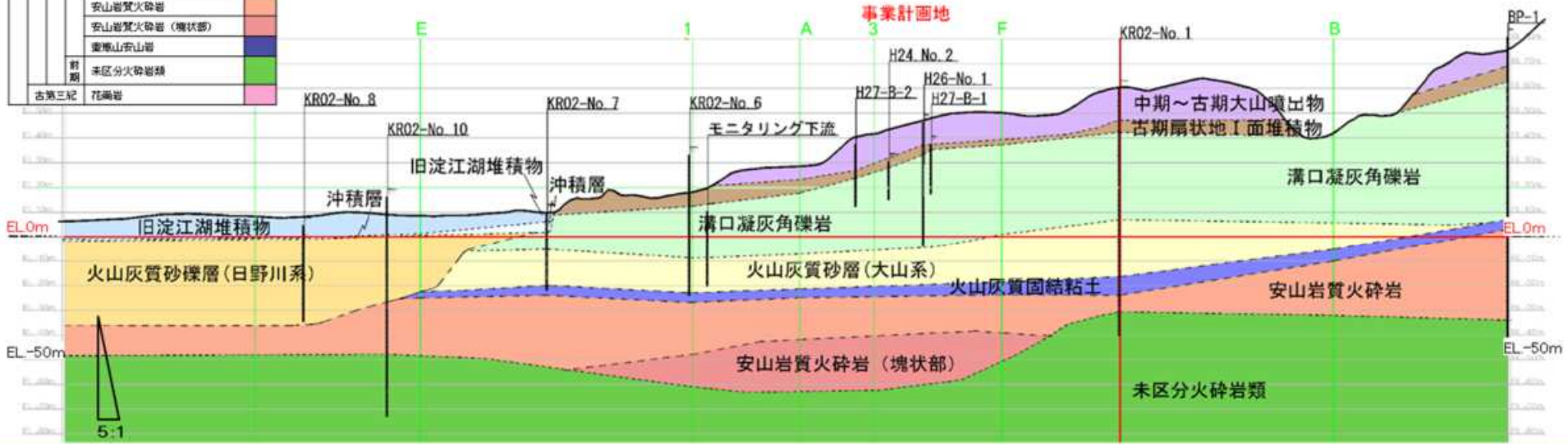
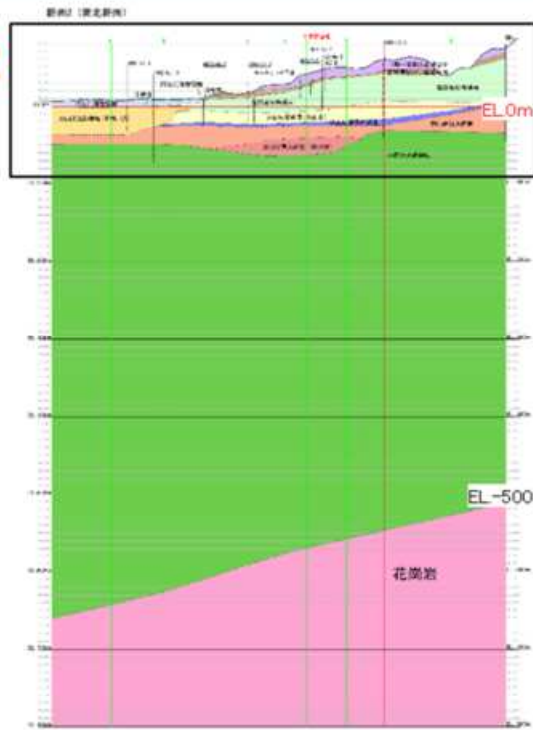
**断面1** 計画地の下流側を通る、東西方向の地質断面図です。



# 地質断面図

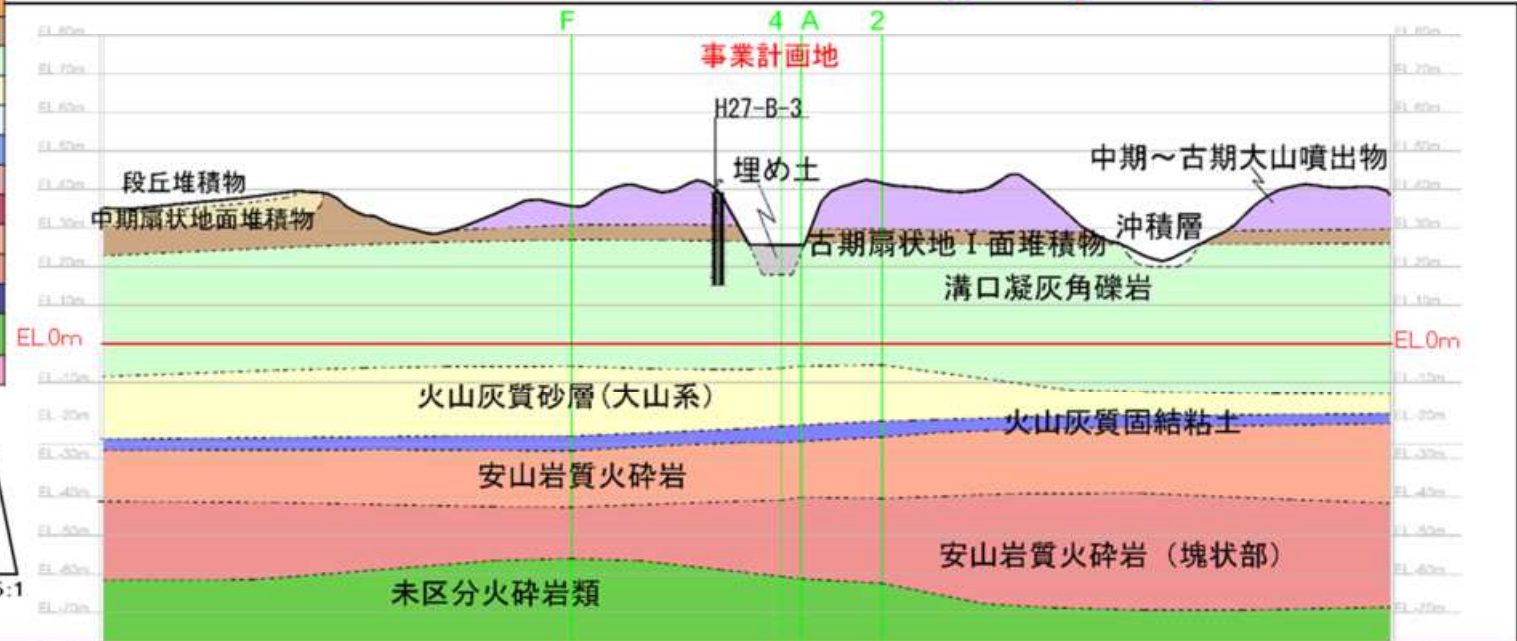
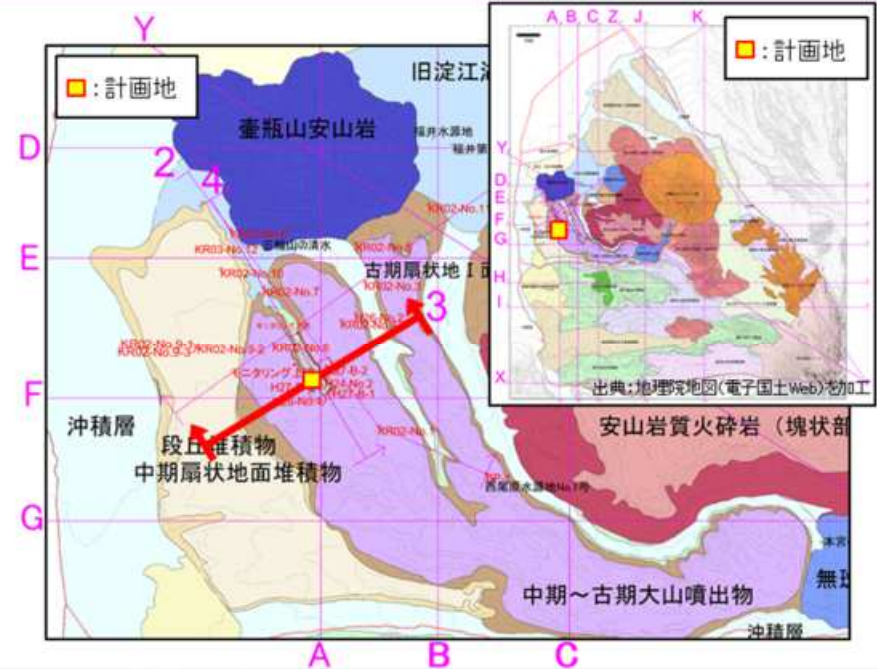
地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバラランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	極原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	孝靈山サイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無珪晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
東郷山安山岩		
新期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

## 断面2



# 地質断面図 断面3

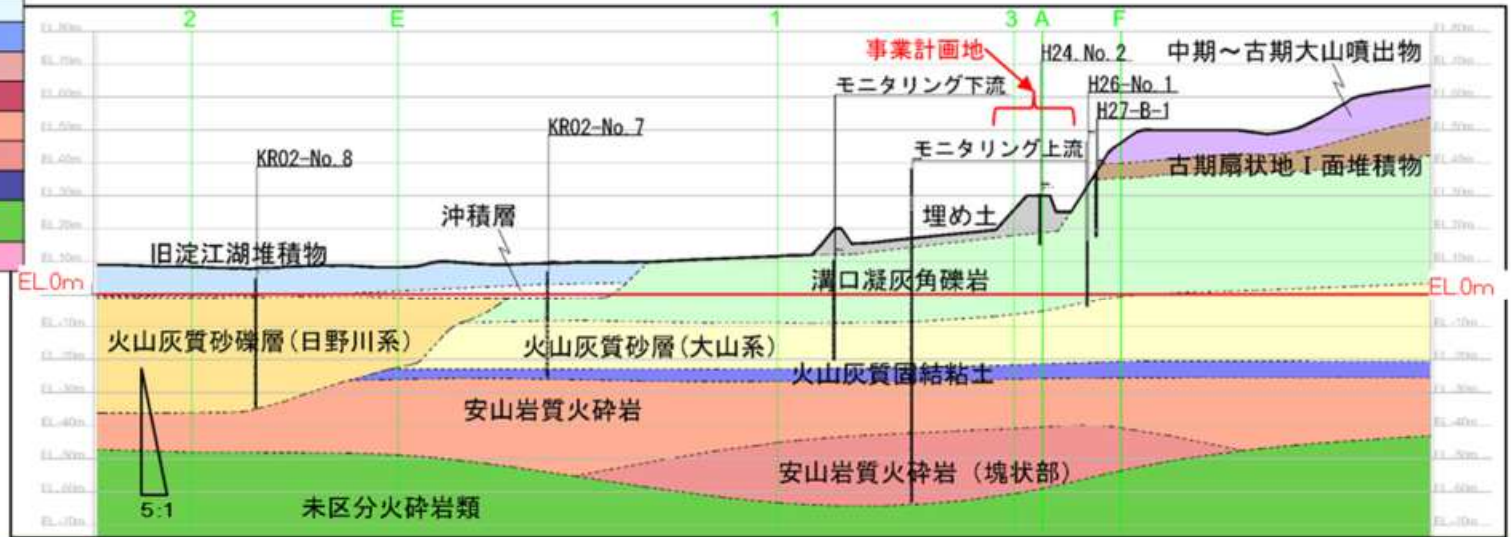
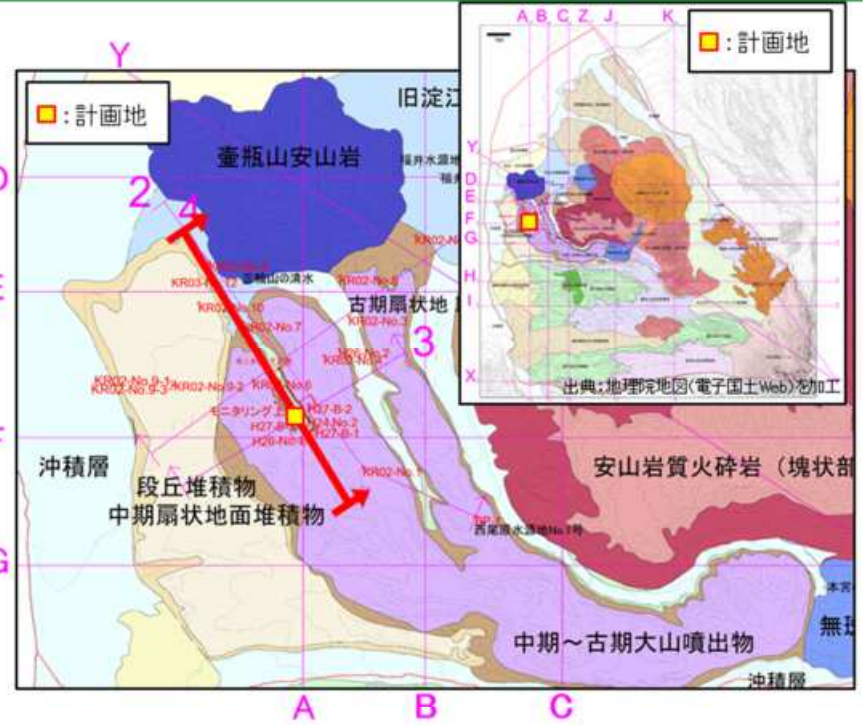
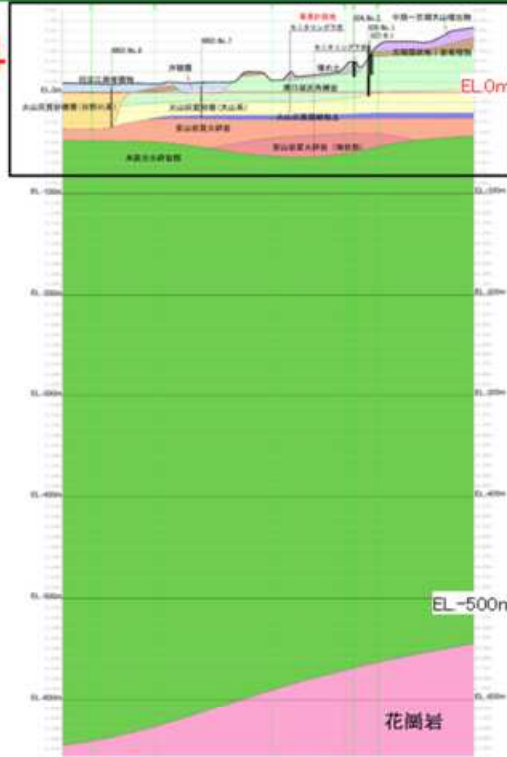
地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺テフラバラチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
新期	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	積原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期福川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
壘原山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



# 地質断面図

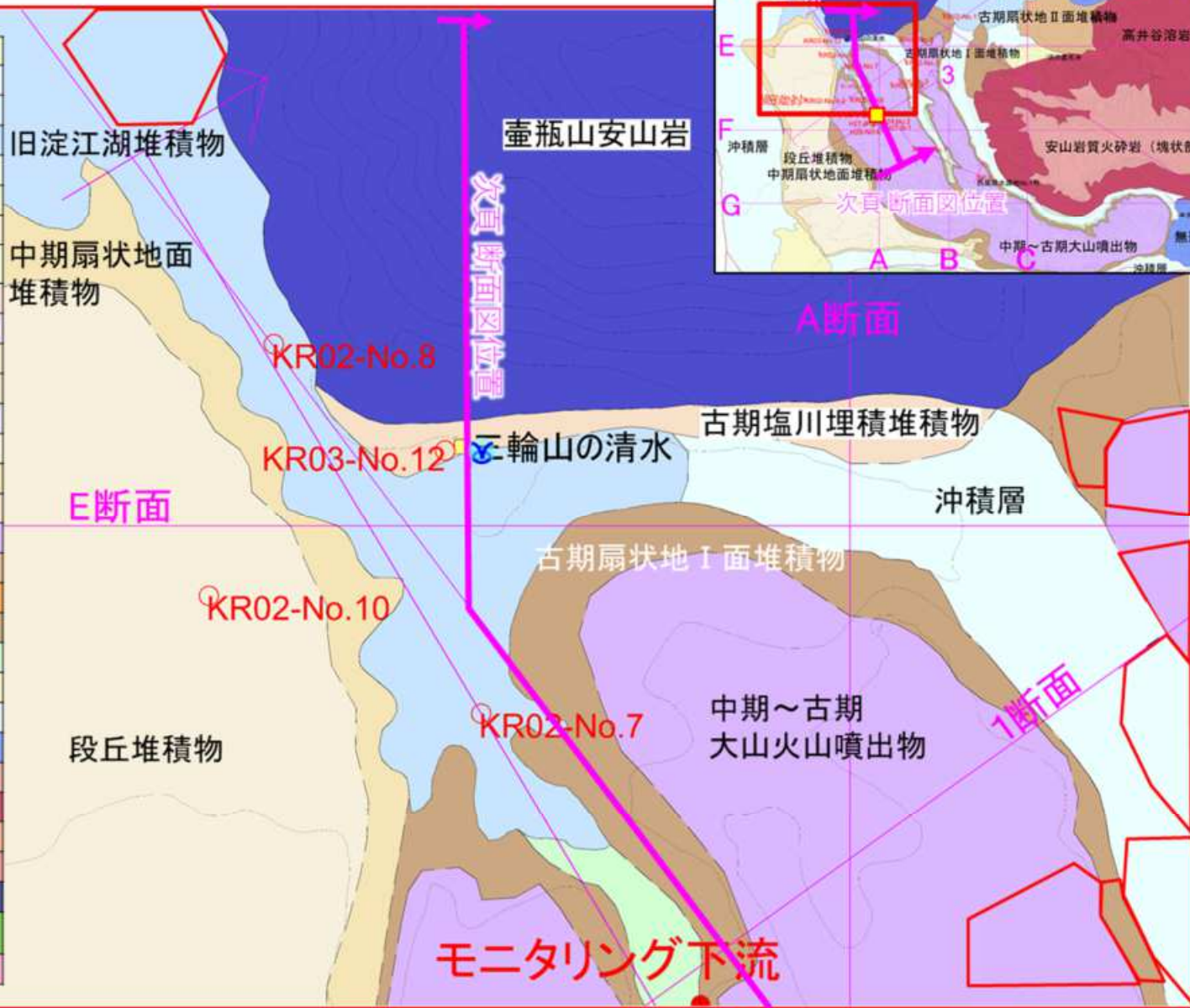
## 断面4

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバラランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期壺川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
高井谷溶岩		
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	

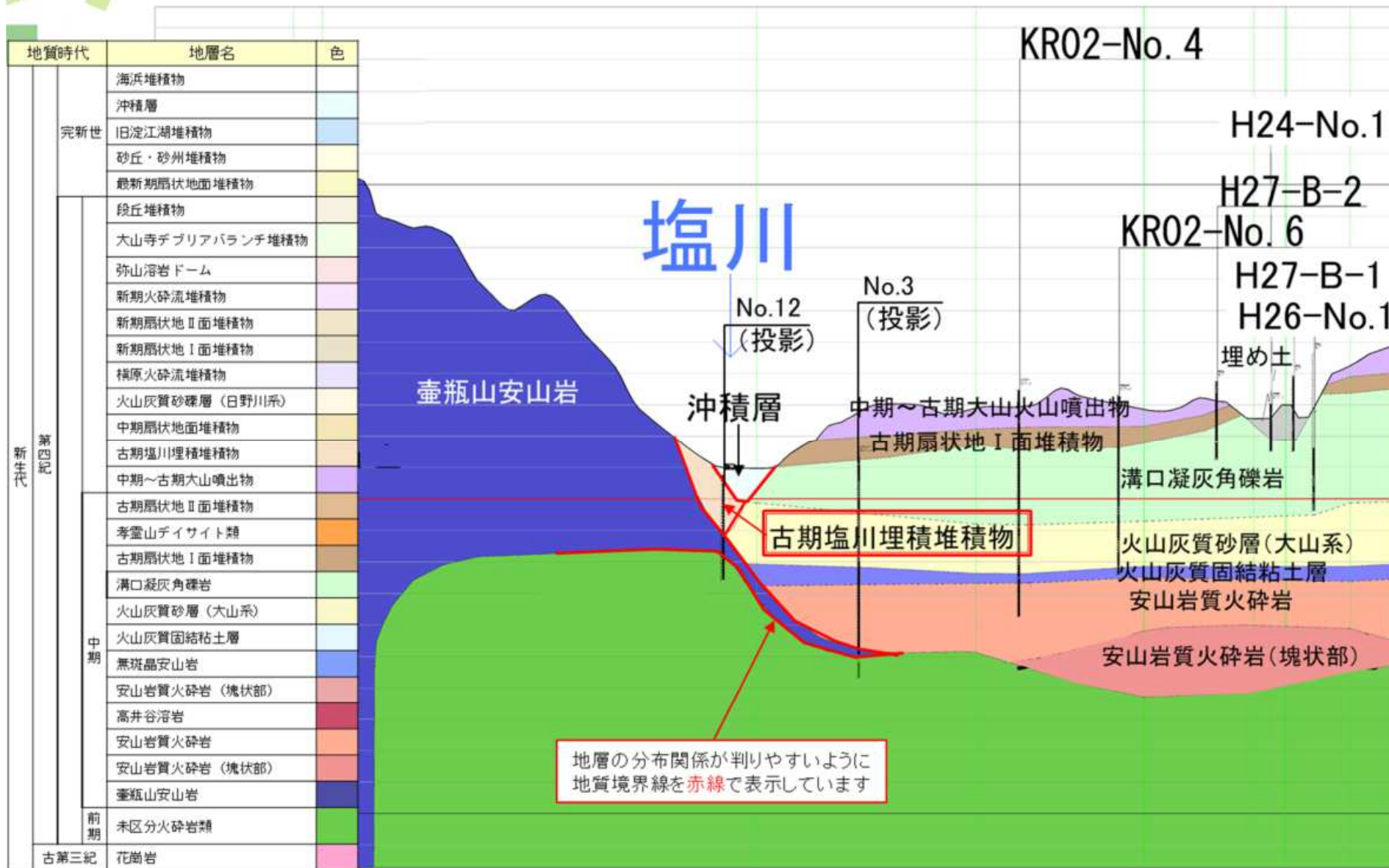


# 地質平面図の見直し(拡大)

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバラランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイスait類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



# 地質断面図の見直し(拡大)



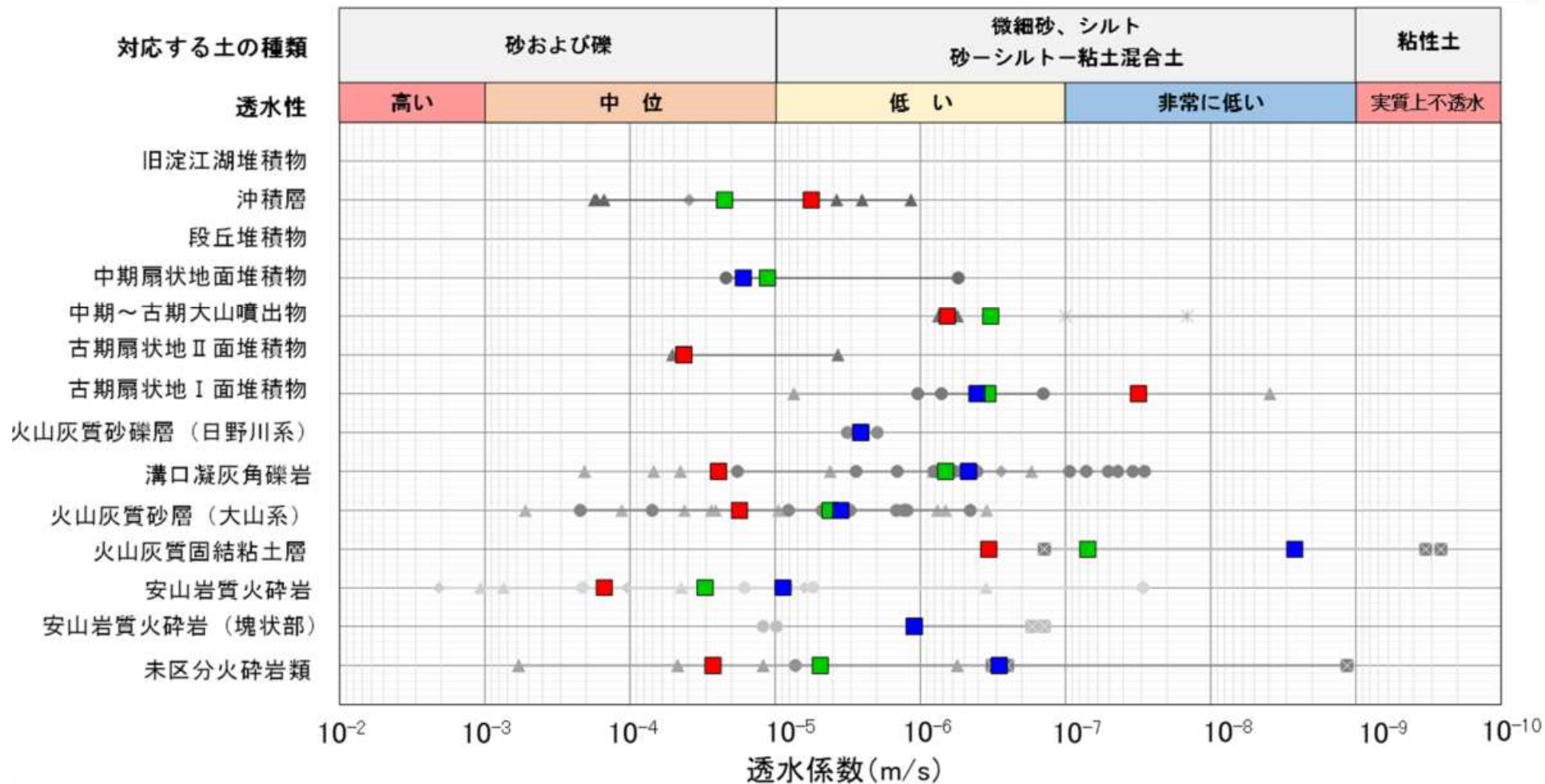
# 各地層の透水性

## 現場透水試験、室内透水試験結果

ボーリング孔を用いた現場透水試験、ボーリングコアを用いた室内透水試験を各地層で実施しました。

### 凡例

- 全データの中央値
- チューブ法の中央値
- ピエゾメーター法  
室内透水試験の中央値
- ⊠ 室内透水試験
- \* 不飽和透水試験
- △ チューブ法
- ◇ ピエゾメーター法(注水法)
- ピエゾメーター法(回復法)



# 帯水層区分・透水係数

対応する土

透水性



各地層の透水係数の初期値から、概ね透水層・難透水層に区分・評価しました。



# 地質層序対比図・帯水層区分対比図

## 地質層序対比図(南北断面)



※H27-B-2,H24No.2,R1-B-○の地下水位は、  
実測値ではありません。



計画地周辺の各地層を透水層・難透水層に区分した結果、  
第1～第3帯水層の3つの帯水層の存在が確認できました。

帯水層	柱状図	背景	水位線
第1帯水層			
第2帯水層			
第3帯水層			
難透水層			

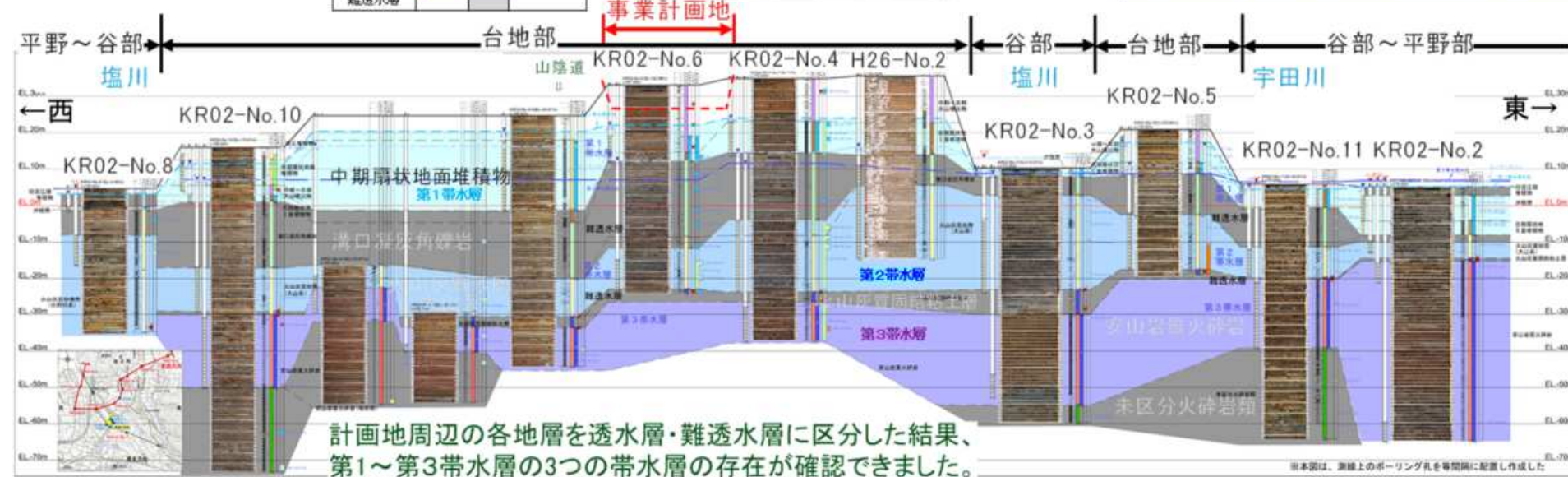
# 地質層序対比図・帯水層区分対比図

# 地質層序対比図(東西断面)



	柱状図	背景	水位線
第1帯水層			
第2帯水層			
第3帯水層			
難透水層			

# 帯水層区分対比図(東西断面)



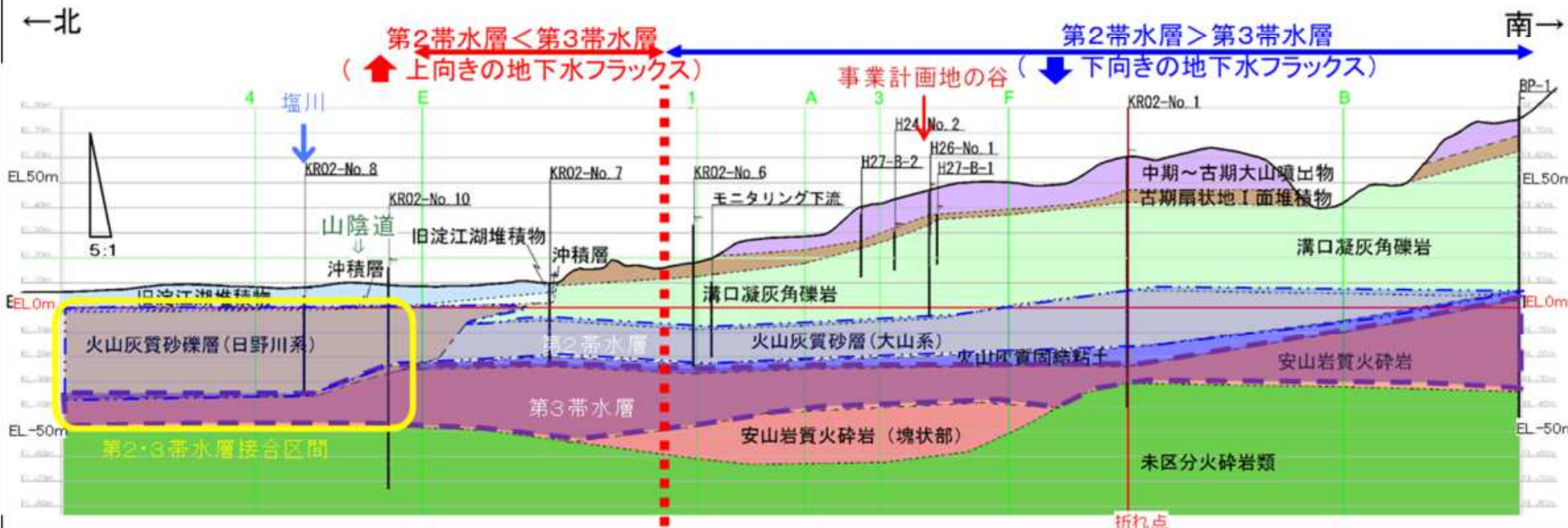
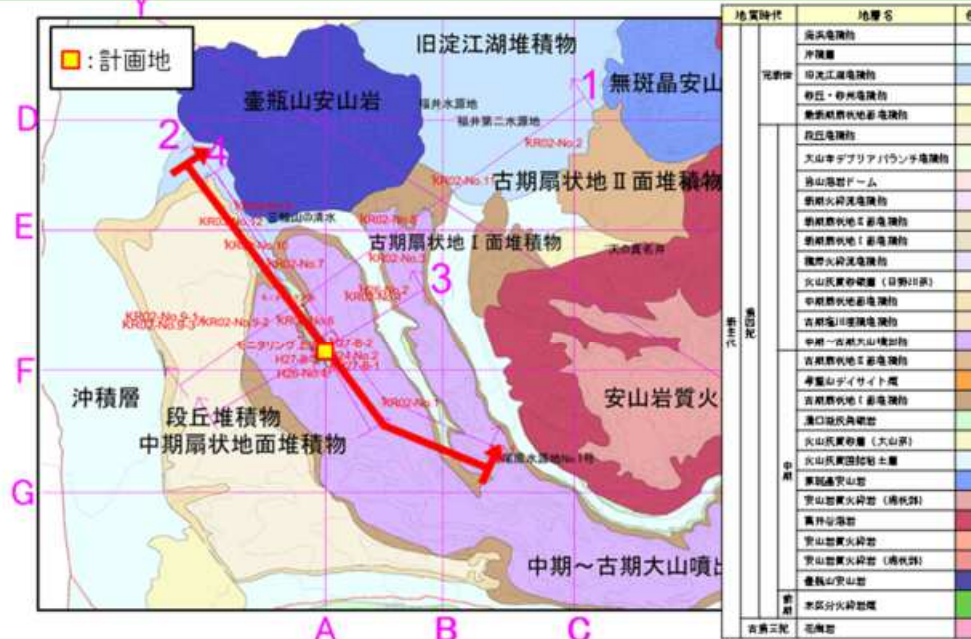
# 水理地質断面図(断面2) 南北方向

【各帯水層(第1, 第2, 第3)の地下水面の状況】

- ・第1: 台地部と谷地・平野部の水位差が大きい
- ・台地部・谷地部では地下水位が第2 > 第3 だが、塩川の谷の下流部では第2 < 第3と逆転している。つまり、台地部・谷地部では第2・第3間で下向きの地下水フラックス、平野部では上向きの地下水フラックスが想定される。

- ▲ 第1帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第2帯水層水位(EL.m)
- ▽ 第3帯水層水位(EL.m)

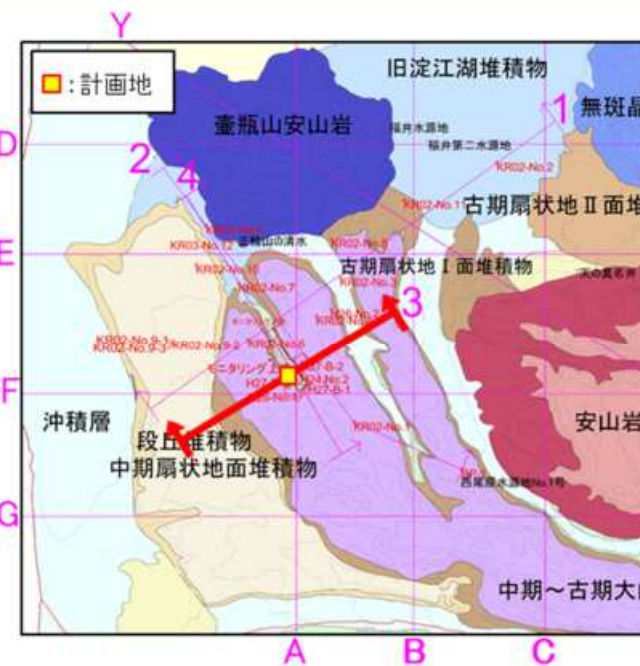
ボーリング孔番  
 第1帯水層水位(EL.m)  
 第2帯水層水位(EL.m)  
 第3帯水層水位(EL.m)



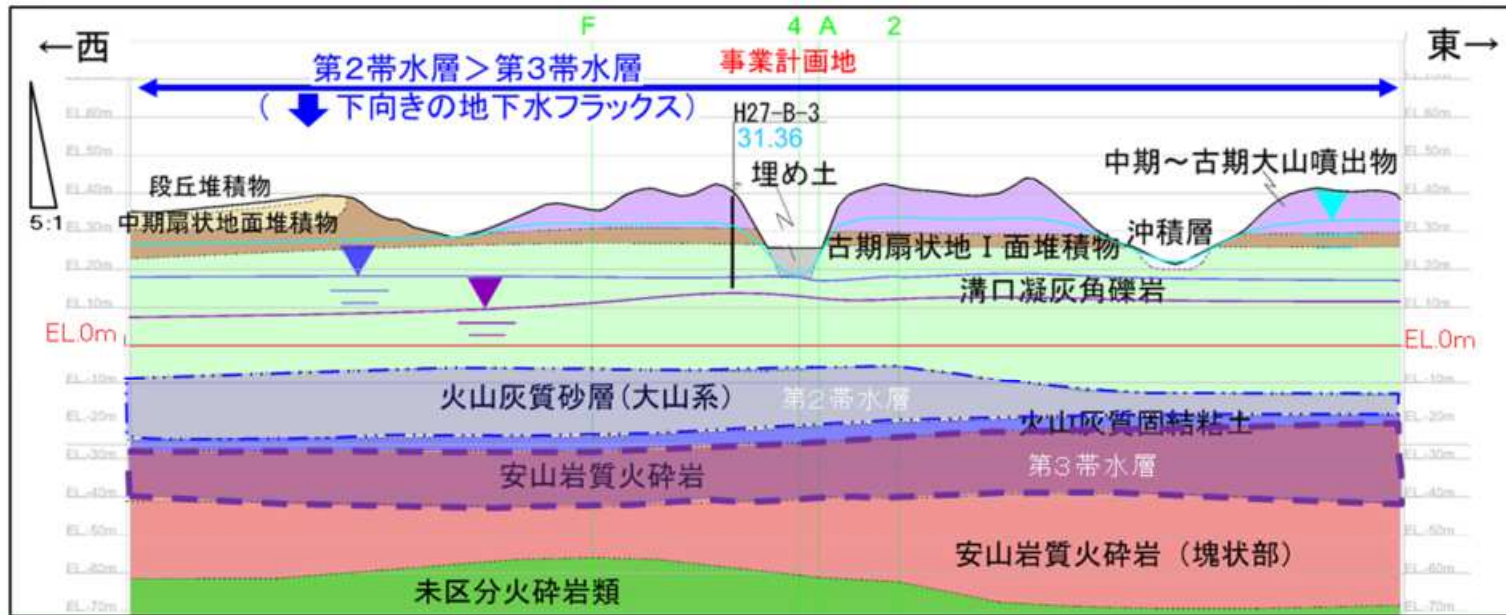
# 水理地質断面図(断面3)東西断面

【各帯水層(第1, 第2, 第3)の地下水面の状況】  
台地部・谷地部では第2・第3間で下向きの地下水フラックスが想定される。

- ▽ 第1帯水層水位(EL.m)
  - ▽ 第2帯水層水位(EL.m)
  - ▽ 第3帯水層水位(EL.m)
- ボーリング孔番  
 第1帯水層水位(EL.m)  
 第2帯水層水位(EL.m)  
 第3帯水層水位(EL.m)



地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地面堆積物		
	段丘堆積物		
	第四紀	大山寺テフラアバラランチ堆積物	
		弥山岩層ドーム	
		新期火砕流堆積物	
		新期扇状地II面堆積物	
新期扇状地I面堆積物			
扇状火砕流堆積物			
火山灰質砂層(日野川系)			
中期扇状地面堆積物			
古期扇状地II面堆積物			
中期~古期大山噴出物			
中生代	古期扇状地I面堆積物		
	孝霊山サイト類		
	古期扇状地I面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	無斑晶安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷層		
	安山岩質火砕岩		
前期	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
古第三紀	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		

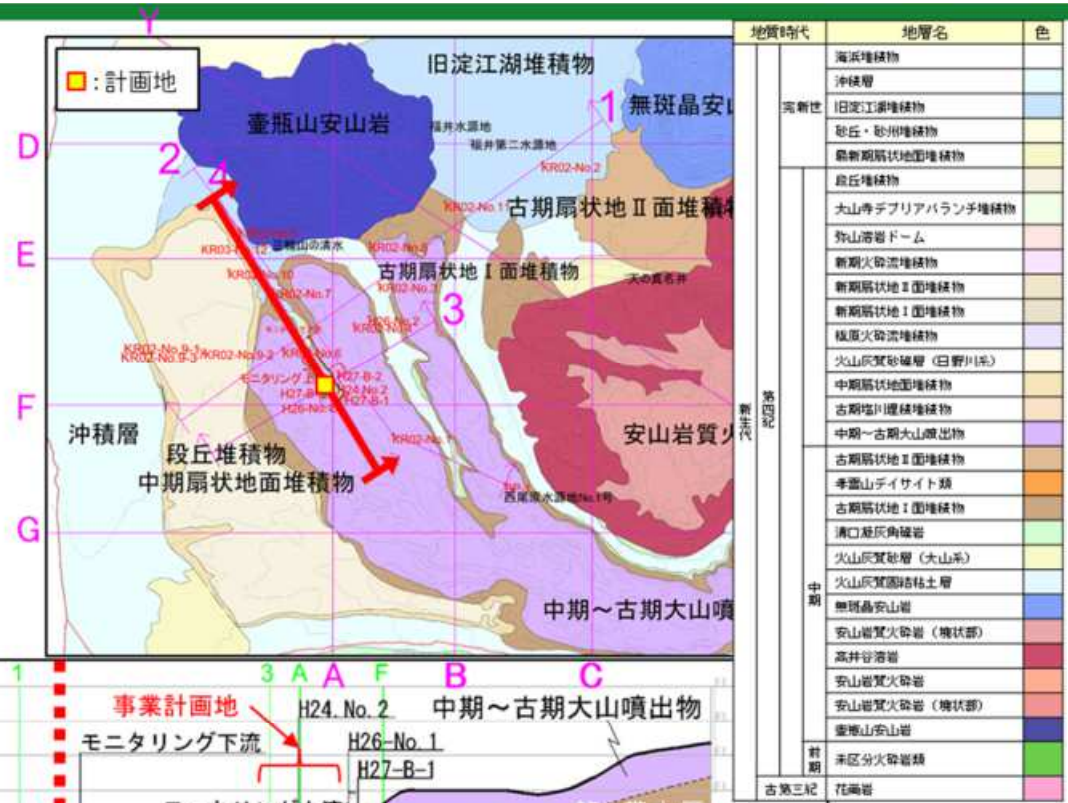


# 水理地質断面図(断面4※)南北断面

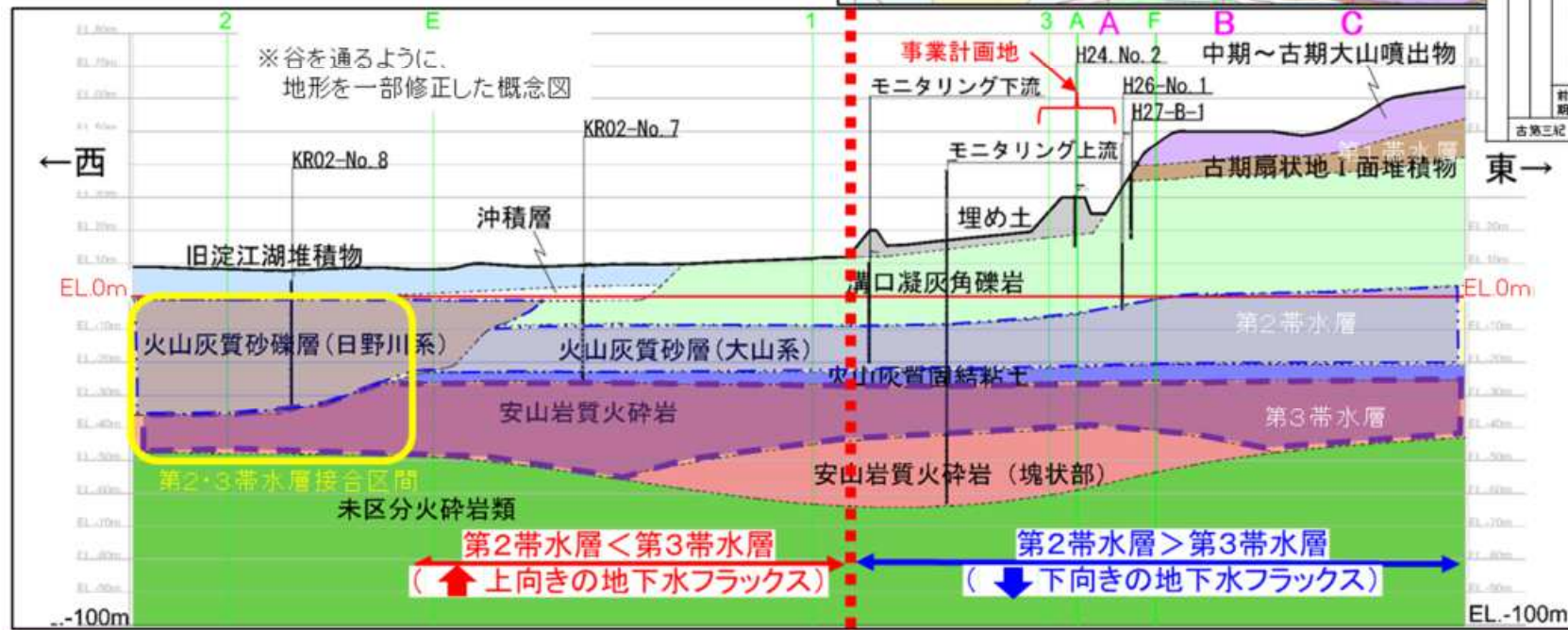
【各帯水層(第1, 第2, 第3)の地下水面の状況】  
 ・台地部・谷地部では第2・第3間で下向きの地下水フラックス、淀江平野部では上向きの地下水フラックスが想定される。

- ▼ 第1帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第2帯水層水位(EL.m)
- ▼ 第3帯水層水位(EL.m)

- ボーリング孔番
- 第1帯水層水位(EL.m)
  - 第2帯水層水位(EL.m)
  - 第3帯水層水位(EL.m)



地質時代	地層名	色
更新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
新石器	扇状堆積物	
	大山寺テフラバラチ堆積物	
	弥山帯岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	植原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期扇状地堆積物	
中期	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	手置山デイスイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
前期	未区分火砕岩類	
	花崗岩	
古第三紀		



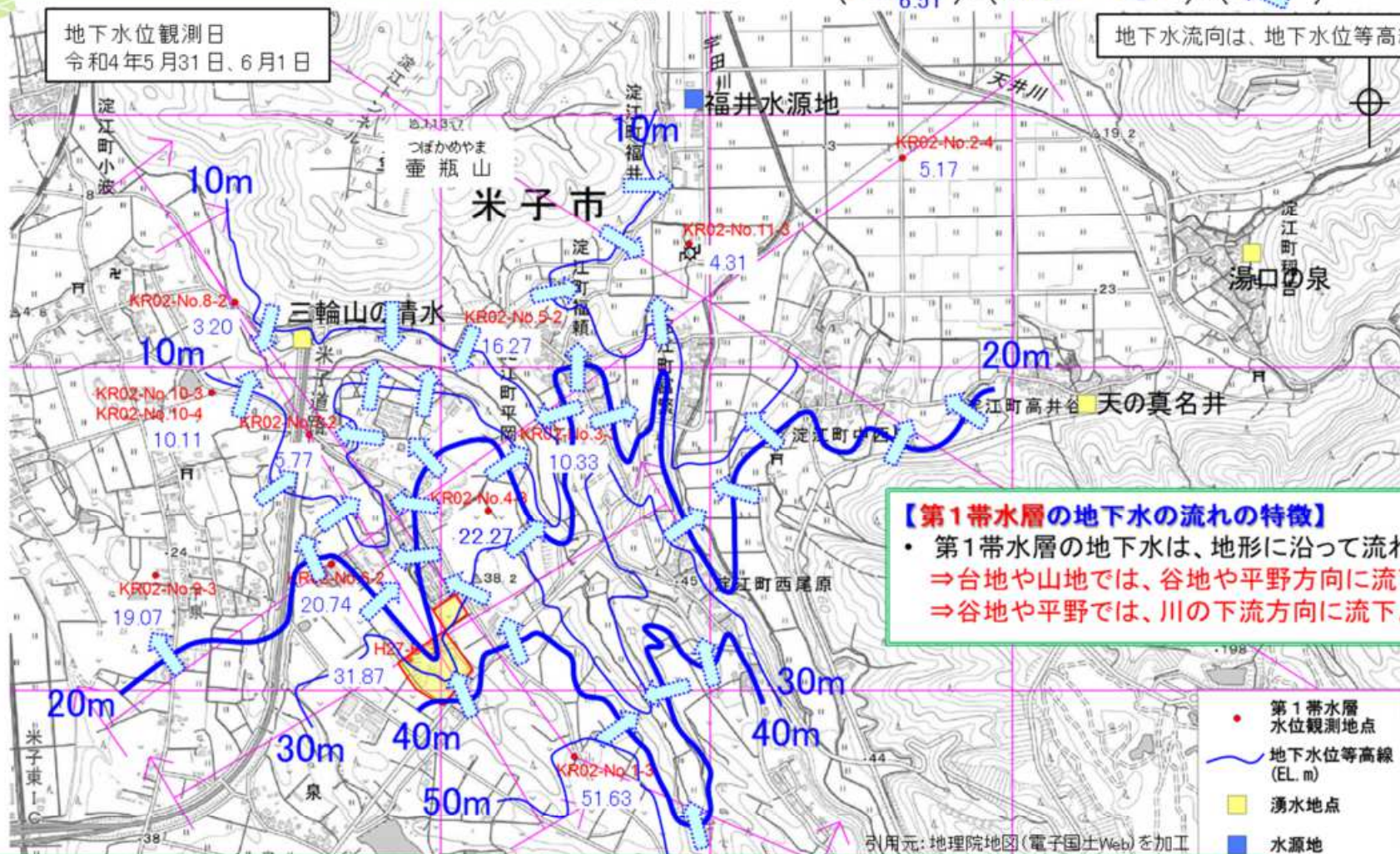
# 地下水位コンター図 第1帯水層

## 第1帯水層の地下水位・地下水位等高線・地下水流向

(観測井戸 6.51)・(10m)・( )

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

地下水流向は、地下水位等高線図から推定



### 【第1帯水層の地下水の流れの特徴】

- 第1帯水層の地下水は、地形に沿って流れる。  
⇒ 台地や山地では、谷地や平野方向に流下。  
⇒ 谷地や平野では、川の下流方向に流下。

### 【水源地・湧水地への第1帯水層の地下水の流れ】

- 【福井水源地】 計画地の谷と福井水源地の間に複数の地下水の尾根があり、計画地の谷の第1帯水層の地下水は、直接、同水源地には向かわない。
- 【三輪山の清水】 三輪山の清水では、背後(北側)の壺瓶山から第1帯水層の地下水が流下する。計画地の谷の第1帯水層の地下水は、地形に沿って流下するので、同湧水には向かわない。

# 地下水位コンター図 第2帯水層

第2帯水層の地下水位・地下水位等高線・地下水流向

(観測井<sup>●</sup>)・(10m)・( )

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

地下水流向は、地下水位等高線図から推定



## 【第2帯水層の地下水の流れの特徴】

- 第2帯水層の地下水は、地表の地形に影響されない。  
⇒地下の地質構造、地下水位に対応して、高い方から低い方に向かって流下。  
⇒壺瓶山の下部には分布しない。

## 【水源地・湧水地への第2帯水層の地下水の流れ】

- 【福井水源地】 下流側を壺瓶山が遮っているため、計画地の東側を通った地下水が壺瓶山南側で東西に分流し、壺瓶山の東側を回り込んで福井水源地に到達。
- 【三輪山の清水】 下流側を壺瓶山が遮っているため、計画地の東側を通った地下水が壺瓶山南側で東西に分流し、壺瓶山の西側を回り込んで三輪山の清水に到達。



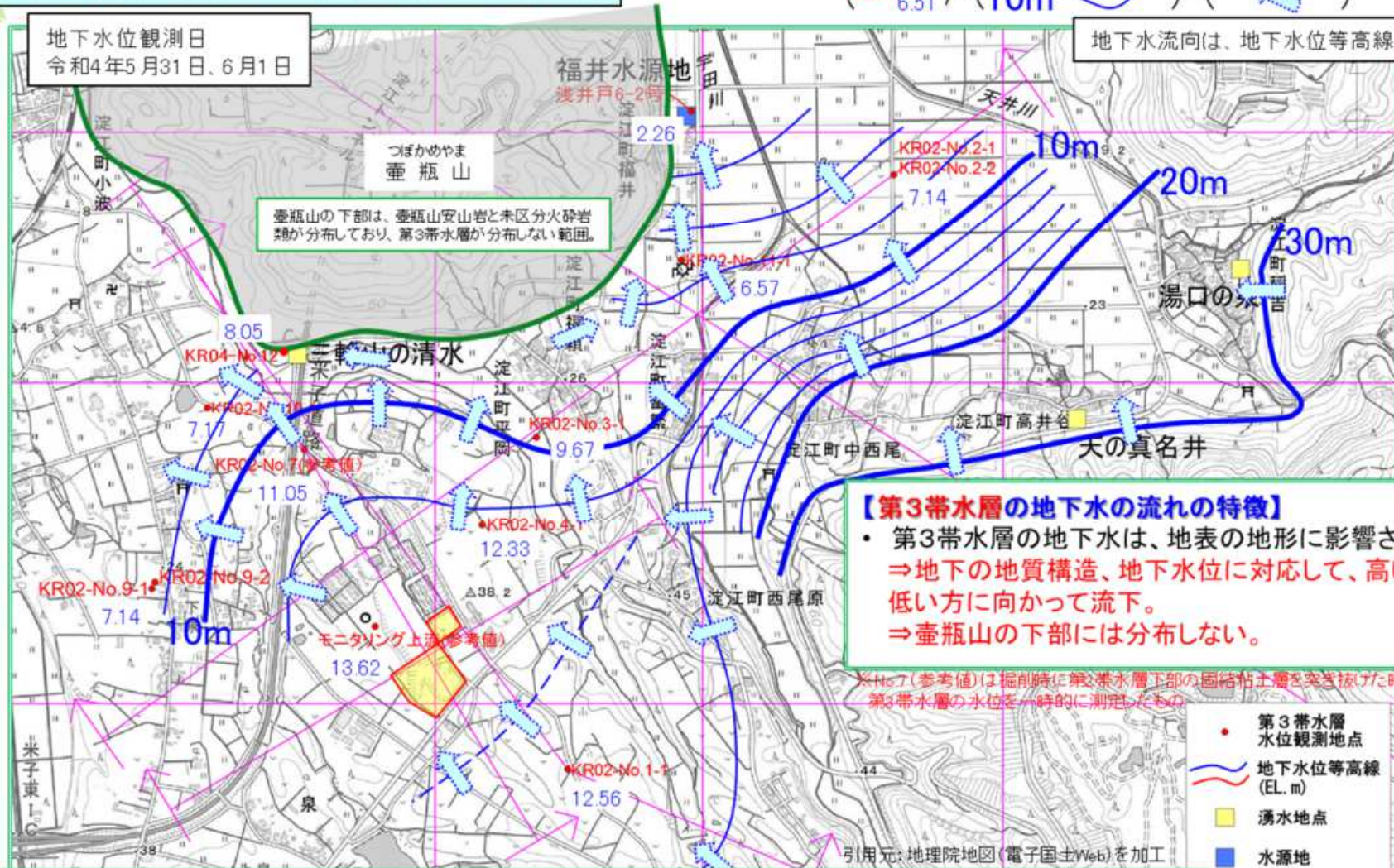
# 地下水位コンター図 第3帯水層

第3帯水層の地下水位・地下水位等高線・地下水流向

(観測井戸)・(10m)・( )

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

地下水流向は、地下水位等高線図から推定



壺瓶山の下部は、壺瓶山安山岩と未区分火砕岩類が分布しており、第3帯水層が分布しない範囲。

### 【第3帯水層の地下水の流れの特徴】

- 第3帯水層の地下水は、地表の地形に影響されない。  
⇒地下の地質構造、地下水位に対応して、高い方から低い方に向かって流下。  
⇒壺瓶山の下部には分布しない。

\*No.7(参考値)は掘削時に第3帯水層下部の固結粘土層を突き抜けた時の、第3帯水層の水位を一時的に測定したものである。

### 【水源地・湧水地への第3帯水層の地下水の流れ】

- 【福井水源地】 計画地の東側～宇田川(本宮川)～天の真名井方向から供給された地下水が主体。
- 【三輪山の清水】 下流側を壺瓶山が遮っているため、計画地の東側を通った地下水が壺瓶山南側で東西に分流し、壺瓶山の西側を回り込んで三輪山の清水に到達。

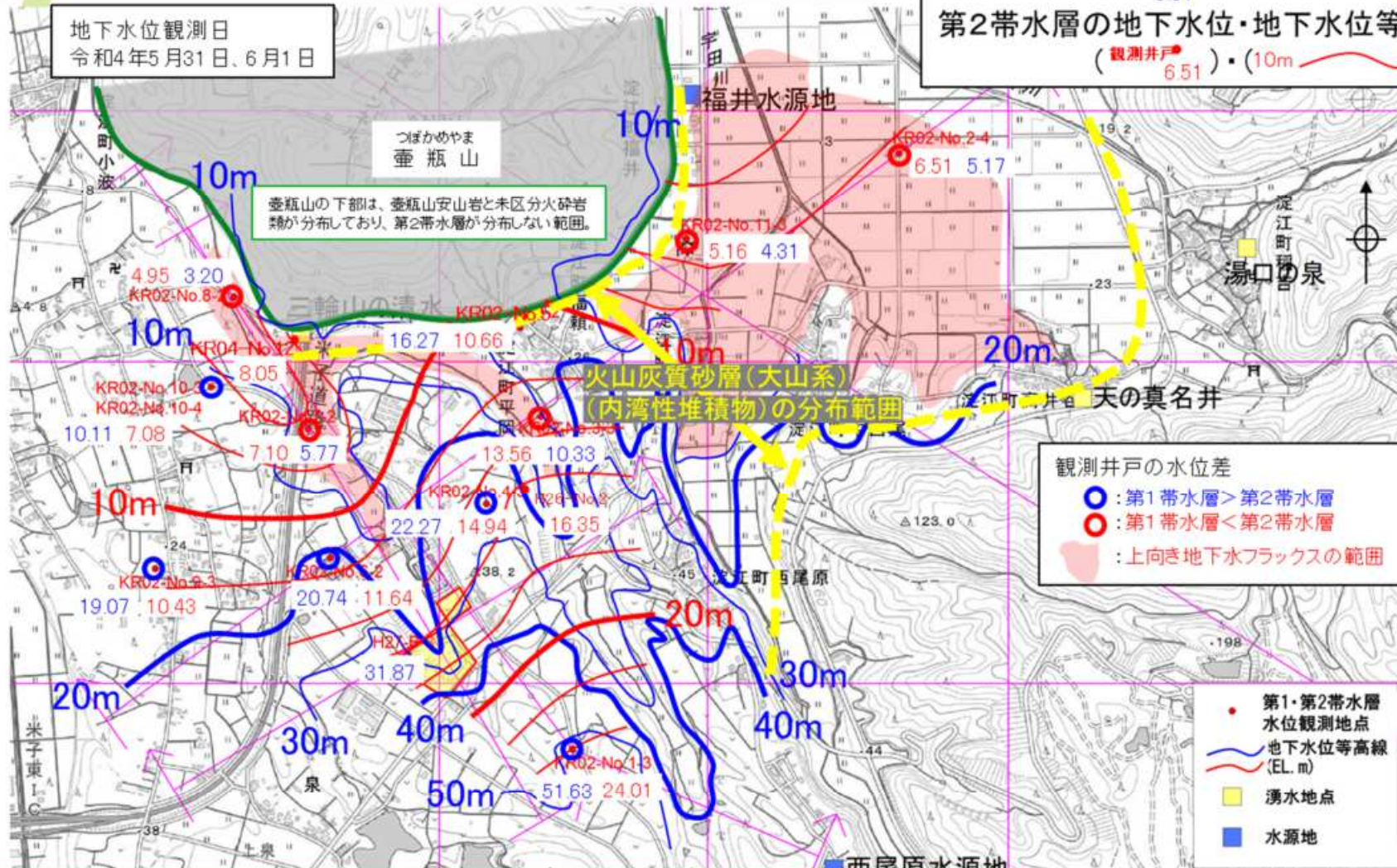


# 地下水位コンター図 第1帯水層+第2帯水層

第1帯水層の地下水位・地下水位等高線  
 (観測井戸)・(10m)

第2帯水層の地下水位・地下水位等高線  
 (観測井戸)・(10m)

地下水位観測日  
 令和4年5月31日、6月1日



観測井戸の水位差

- : 第1帯水層 > 第2帯水層
- : 第1帯水層 < 第2帯水層
- : 上向き地下水フラックスの範囲

- : 第1・第2帯水層 水位観測地点
- : 地下水位等高線 (EL. m)
- : 湧水地点
- : 水源地

**【第1帯水層と第2帯水層間の地下水位の上下関係と地下水の流れ】**

- ・【計画地の谷や塩川の谷:三輪山の清水周辺】【淀江平野:福井水源地周辺】の低地では、第1帯水層より第2帯水層の地下水位が上回り、第2帯水層の地下水が第1帯水層に向かう、上向きの地下水流向(フラックス)が存在する範囲を把握。

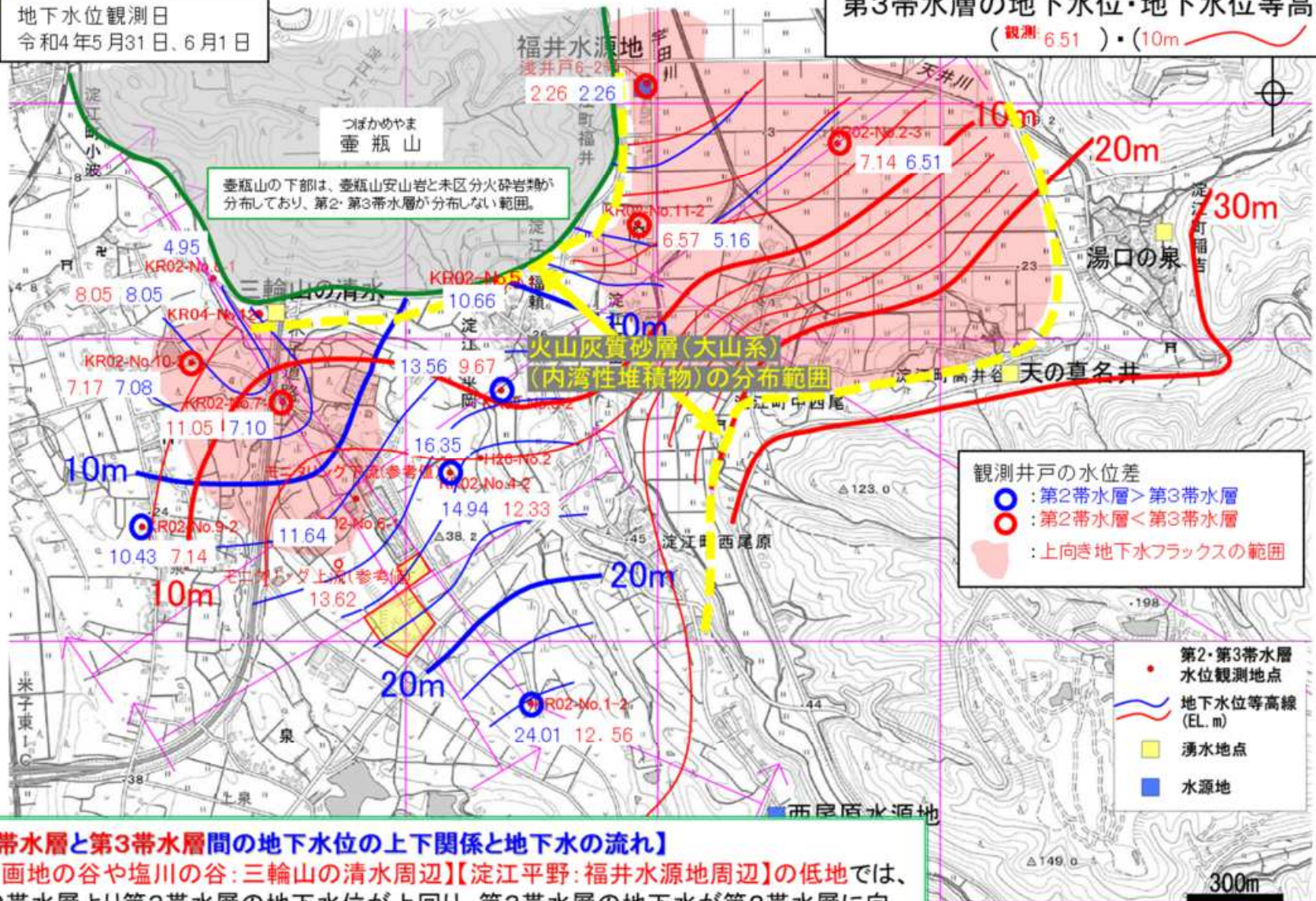
引用元: 地理院地図(電子国土地Web)を加工

# 地下水位コンター図 第2帯水層+第3帯水層

地下水位観測日  
令和4年5月31日、6月1日

第2帯水層の地下水位・地下水位等高線  
(観測井戸)・(10m)

第3帯水層の地下水位・地下水位等高線  
(観測: 6.51)・(10m)



観測井戸の水位差

- : 第2帯水層 > 第3帯水層
- : 第2帯水層 < 第3帯水層
- : 上向き地下水フラックスの範囲

第2・第3帯水層  
水位観測地点

地下水位等高線  
(EL. m)

湧水地点

水源地

## 【第2帯水層と第3帯水層間の地下水位の上下関係と地下水の流れ】

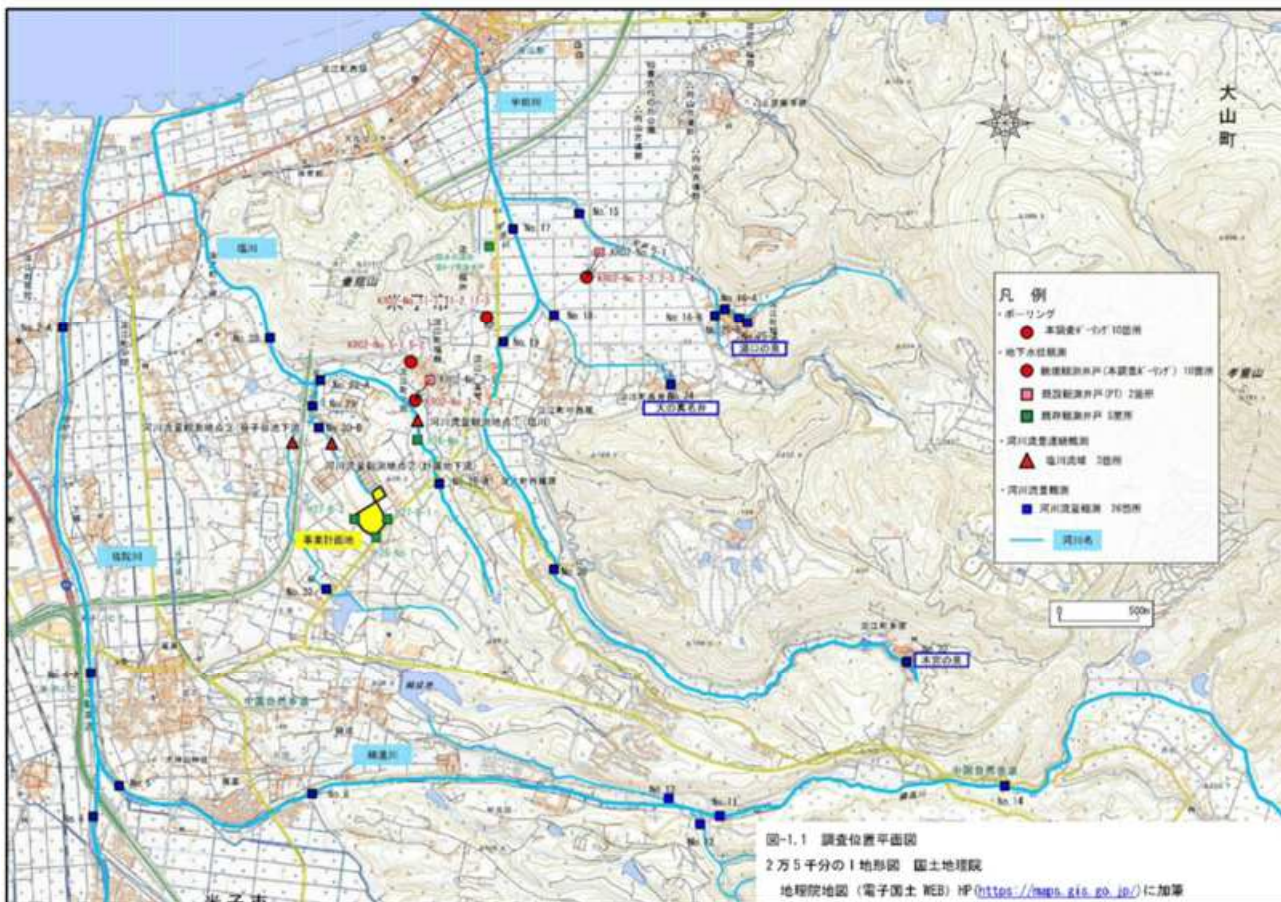
- ・【計画地の谷や塩川の谷: 三輪山の清水周辺】【淀江平野: 福井水源地周辺】の低地では、第2帯水層より第3帯水層の地下水位が上回り、第3帯水層の地下水が第2帯水層に向かう、上向きの地下水流向(フラックス)が存在する範囲を把握。

引用元: 地理院地図(電子国土地図)を加工

## 河川流量観測 調査内容・地点

河川流量観測は解析範囲内の計29地点において、下記方法で実施した。

- ①自記水位計を用いた連続観測(三角四角堰を設置)・・・計3地点  
⇒2020年11月～2021年11月(観測間隔は1時間)
- ②河川断面法または、容器法による実流量観測・・・計26地点  
⇒低水期(2020年11月)に一斉観測を実施。



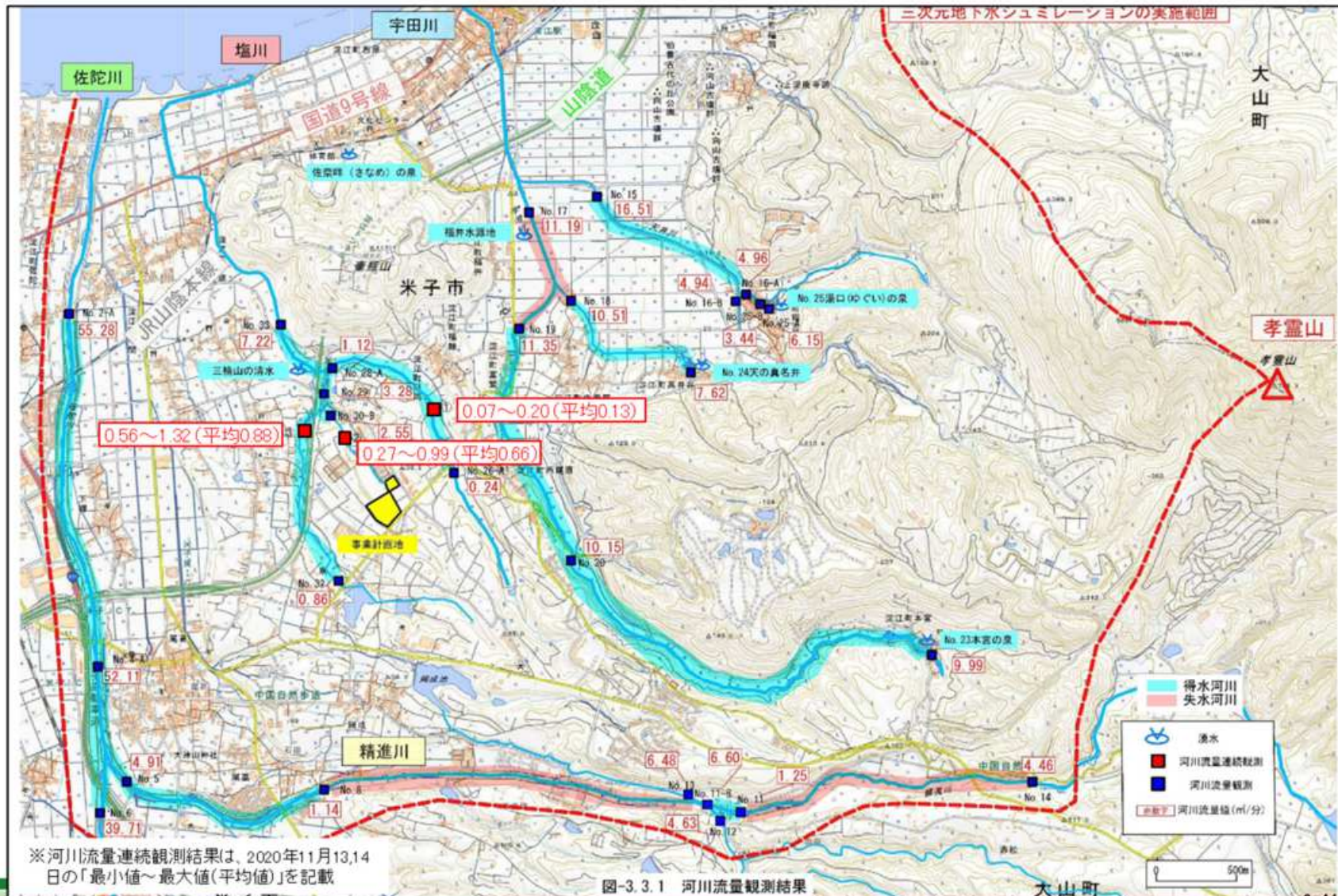
調査地点の状況  
観測地点②(計画地下流)

調査地点位置図

# 河川流量観測結果

河川流量観測実施日：2020年11月13,14日（低水期）

調査地全体としては、概ね上流から下流に向かい流量の増加が確認され、**得水河川**となる区間が多いが、**精進川、天井川上流部、宇田川の一部**で**失水河川**となる区間が認められる。



※河川流量連続観測結果は、2020年11月13,14日の「最小値～最大値(平均値)」を記載

図-3.3.1 河川流量観測結果

